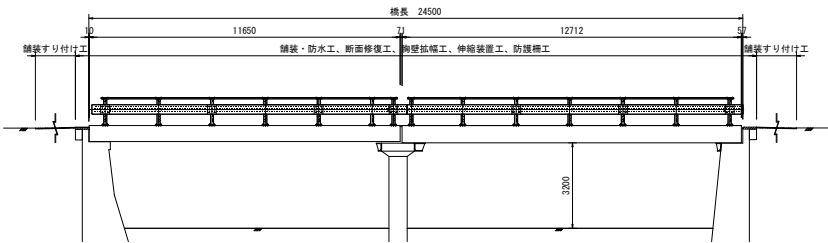
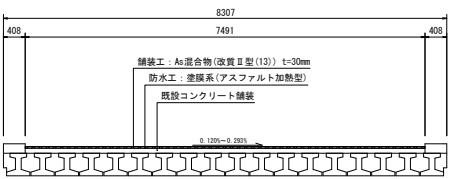


中島橋 補修工一般図

側面図 S=1:100



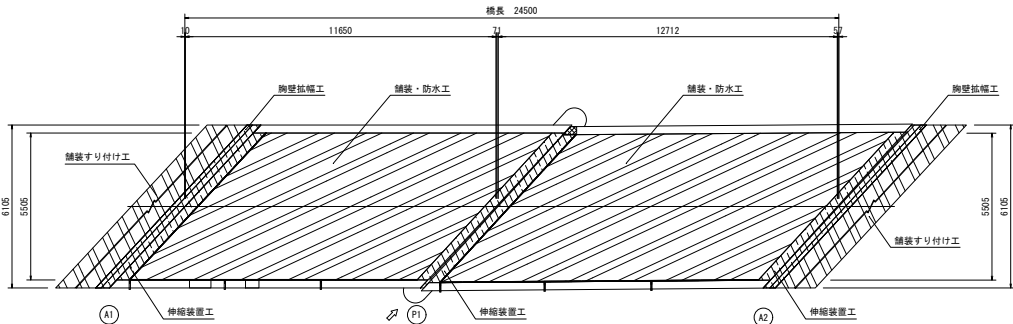
断面図 S=1:50



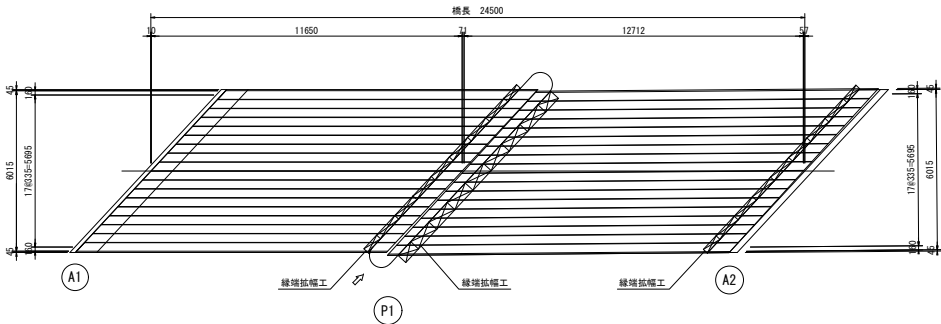
凡例

記号	工種	補修部位
	舗装・防水工	橋面車道部
	舗装すり付け工	現道すり付け部
	断面修復工(はくり)	地覆上面
	断面修復工(断面欠損)	地覆側面、P1橋脚
	断面修復工(摩耗・骨材露出)	A1、P1、A2壁基底部
	橋壁拡張工	A1、P1、A2上遊側部
	伸縮装置工	A1、P1、A2上遊側部
	防護欄工	上・下流側防護欄

橋面図 S=1:100

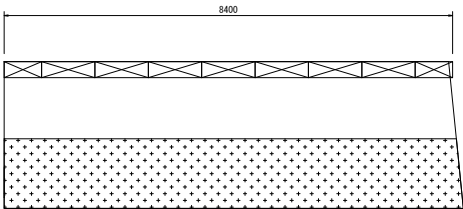


桁下面図 S=1:100

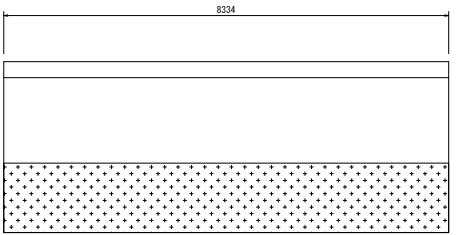


下部工 S=1:50

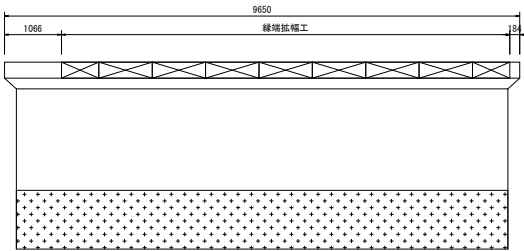
A2橋台



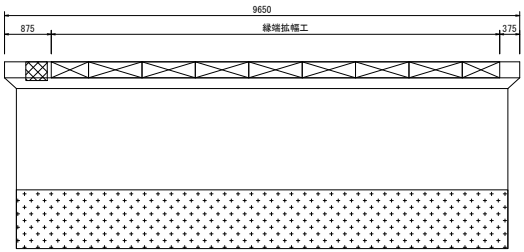
A1橋台



P1橋脚(A1側)



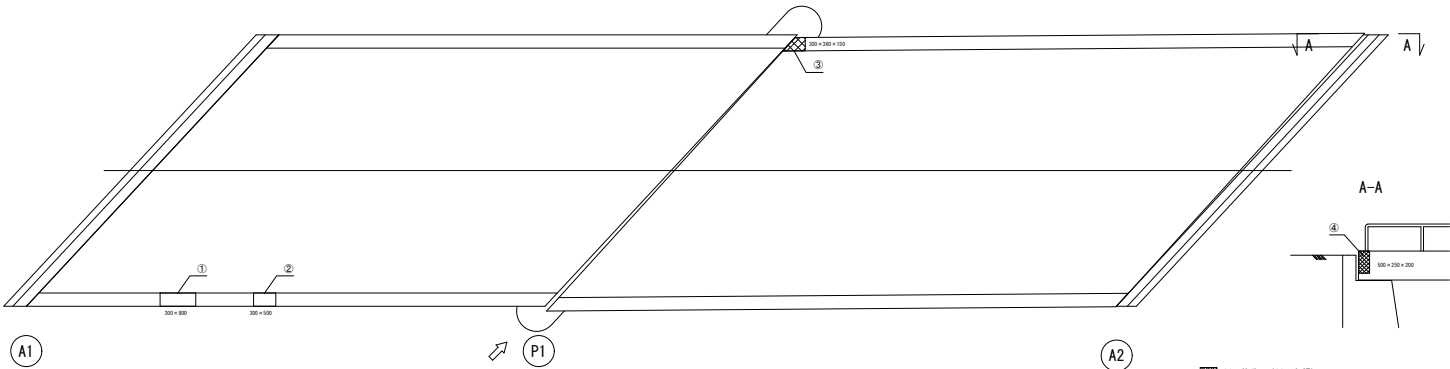
P1橋台(A2側)



認可、実施	令和 4 年度 道河第 30 号
年度、番号	令和 4 年度 道河第 30 号
路線名	布勢加田今 1 号線
工事名	橋梁(中島橋)補修工事
地名	長浜市布勢町
図面名	中島橋 補修工一般図
縮尺	図示
図面番号	24 枚 / 内 1
長浜市 都市建設部 道路河川課	

中島橋 補修工図

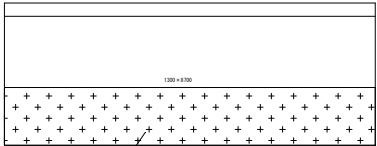
橋面図 S=1:60



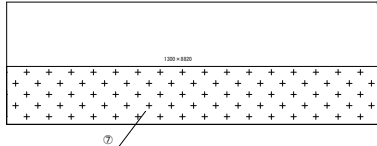
- 断面修復工 (断面欠損)
断面修復工 (はくり)
断面修復工 (摩耗・骨材露出)

下部工 S=1:60

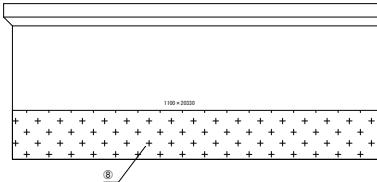
A1橋台



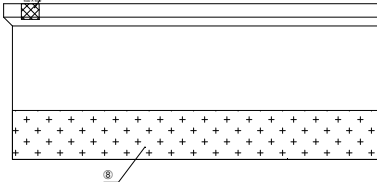
A2橋台



P1橋脚 (A1側)



P1橋台 (A2側)



断面修復工要領図 S=1:6

橋脚梁・地覆

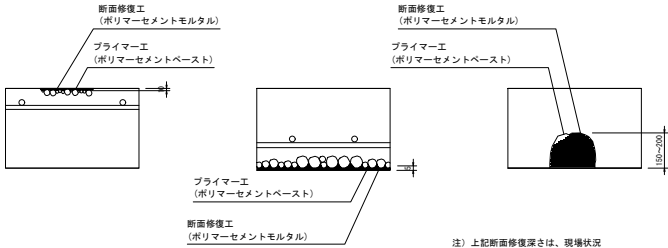
はくり部

橋台・橋脚基部

摩耗部

地覆

断面欠損部



注) 上記断面修復深さは、現状状況に合わせて見直すこと

断面修復工 (上部工)

No	幅 W(mm)	長さ L(mm)	深さ t(mm)
①	300	800	10
②	300	500	10
③	300	360	150
④	500	250	200

断面修復工 (下部工)

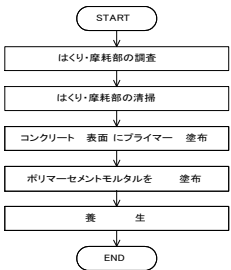
No	幅 W(mm)	長さ L(mm)	深さ t(mm)
⑤	400	400	5
⑥	1300	8700	5
⑦	1300	8820	5
⑧	1100	20330	5

断面修復材 (ポリマーセメントモルタル)

試験項目	規格値
ひび割れ抵抗性	幅0.05mm以上のひび割れが発生しないこと
コンクリートの付着性	1.5N/mm ² 以上
鉄筋表面への充填性	有害な空隙がないこと
寸法安定性	0.05%以下
熱膨張性	2×10 ⁻⁵ /℃以下
中性化抵抗性	補修設計で定めた中性化速度係数と同等
凍結融解抵抗性	負荷後の相対弾性係数が60%以上かつ負荷後のコンクリートと断面修復材との付着強度は1.5N/mm ² 以上
速凝性	補修設計で定めた硬化物イオンの拡散係数と同等
圧縮強度	補修設計で定めた設計基準強度以上
静弾性係数	補修設計で定めた値と同等

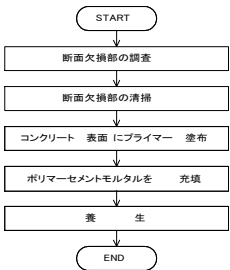
施工手順

(はくり・摩耗部)



施工手順

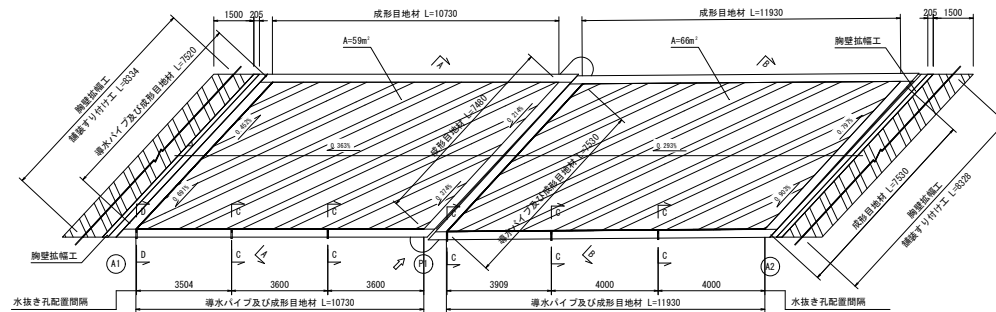
(断面欠損部)



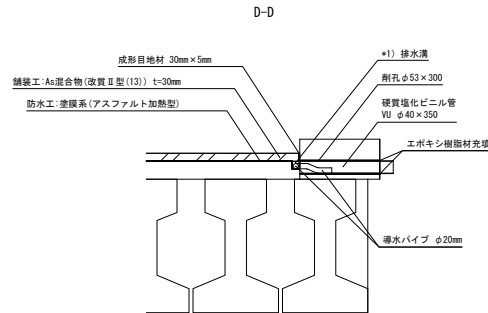
認可・実施	第 回 委 更
年度・番号	令和 4 年度 道河第 30 号
路線名	布勢加田今1号線
工事名	橋梁(中島橋)補修工事
地名	長浜市布勢町
図面名	中島橋 補修工図
縮尺	図示
図面番号	24 枚 / 内 2
長浜市 都市建設部 道路河川課	

中島橋 舗装・防水工、胸壁拡幅工図

側面図 S=1:100



舗装端部構造図 S=1:10



*1): コンクリート舗装を幅30mm、深さ30mm程度ではつり取り、
導水パイプを設置するスペースを設けるものとする。

床版防水材品質規格

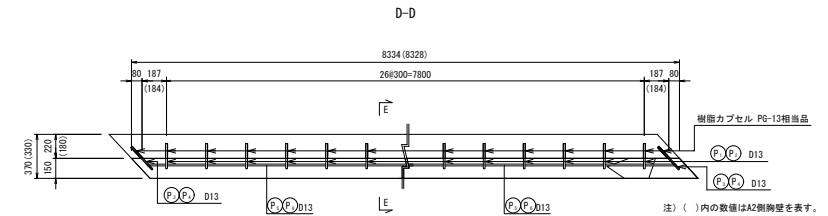
試験項目		規格値
防水性試験	1	試験温度 23℃ 漏水量 0.2ml 以上
	2	試験温度 23℃ 漏水量がないこと
ひび割れ 追従性試験	1	試験温度-10℃ 床版防水層の折損が生じないこと
	2	試験温度-10℃ 追従限界ひび割れ幅 0.3mm 以上
引張接着試験	試験温度 23℃	試験速度 0.6N/mm2 以上
	試験温度-10℃	強度 1.2N/mm2 以上
	試験温度 23℃	強度 0.15N/mm2 以上
せん断試験	試験温度 23℃	変位量 1.0mm 以上
	試験温度-10℃	強度 0.8N/mm2 以上
	試験温度-10℃	変位量 0.5mm 以上
水浸引張接着試験	試験温度 23℃	水浸前の50%以上
耐薬品性試験	試験温度 23℃	異常のないこと

注) 防水性試験1、2及びひび割れ追従試験1、2は、それぞれ1または2のいずれかの方法によってよい。

鋪裝・防水工数量表

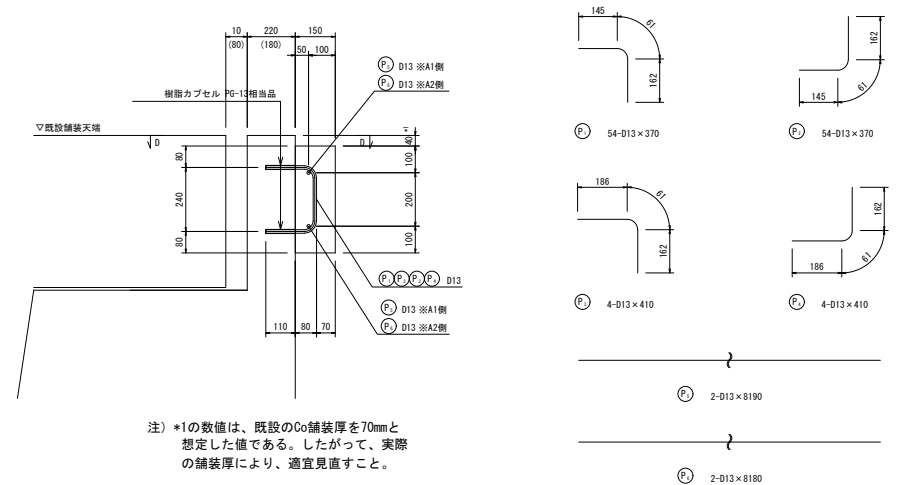
工 種	品 名	規 格	単 位	数 量	摘 要
舗装工	As混合物(改質Ⅱ型(13))	t=30mm	m ²	161	
床版防水工	建屋防水層	アスファルト加熱型	m ²	125	
	導水パイプ	樹脂製φ20	m	38	
	成型目地材	30mm×5mm	m	75	
		WJ-φ40	本	1	
陶壁拡張工	コンクリート	21-12-25	m ²	1.0	
	型 枠		m ²	7.0	
	鉄 筋	D13 S0345	t	0.08	

胸壁扩幅工图 S=1:20



E-E S=1:10

鉄筋加工図 S=1:10



鉄筋質量表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kgf/m)	1本当り質量 (kgf)	質量 (kgf)	備 考
P1	D13	370	54	0.995	0.37	20	
P2	D13	370	54	0.995	0.37	20	
P3	D13	410	4	0.995	0.41	2	
P4	D13	410	4	0.995	0.41	2	
P5	D13	8190	2	0.995	8.15	16	
P6	D13	8180	2	0.995	8.14	16	
合 計				D13		76 kg	

注) 1. 工事着手前に、橋面勾配の再計測を行い、橋面隅角部に滞水しないように必要に応じて導水パイプ、排水パイプの配置を見直すこと。

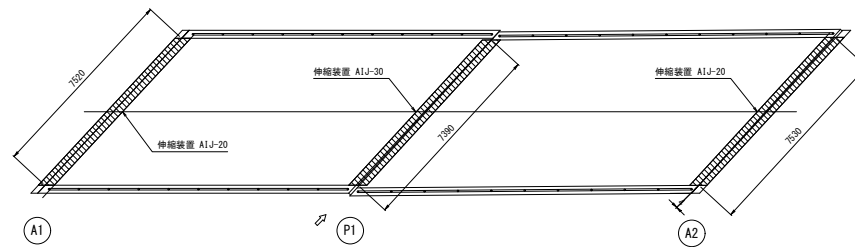
2. 排水管の側面にφ20mm程度の孔をあけ、導水パイプを差し込むこと。

3. 舗装すり付け範囲及びすり付け舗装厚は、現場の状況に応じて、適宜見直すこと。

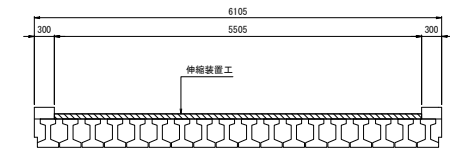
認可・実施	第 回 変 更	
年度・番号	令和 4 年度	道河第 30 号
路線名	布勢加田今1号線	
工事名	橋梁（中島橋他）補修工事	
地名	長浜市布勢町	
図面名	中島橋 舗装・防水工、胸置板工	
縮尺	図 示	
図面番号	24 枚 / 内 3	
長浜市 都市建設部 道路河川課		

中島橋 伸縮装置補修図

平面图 S=1:100

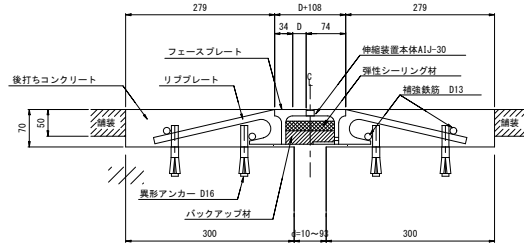


断面图 S=1:40



※1 既設舗装ははつり時に全て撤去し、健全なコンクリート面まで露出させること。

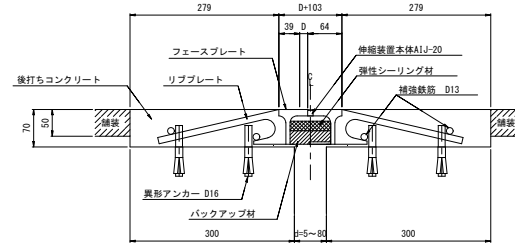
P1 : (AIJ-30)



※1 設置遊間Dは施工時の温度を考慮して決定すること。

伸縮装置断面図 S=1:5
【参考】

A1, A2 : (AIJ-20)

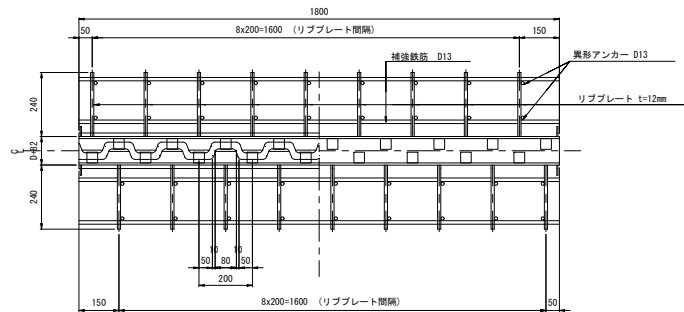


※ 設置遊間Dは施工時の温度を考慮して決定すること。

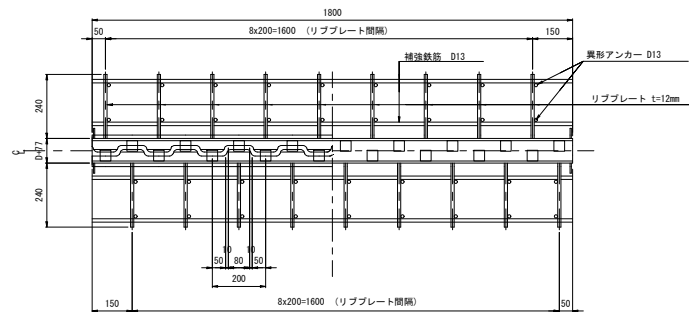
数量表

名 称	規 格	単位	数量				備 考
			A1	P1	A2	計	
伸縮設置本体	A1J-30	m	-	7.39	-	7.39	
	A1J-20	m	7.52	-	7.53	15.05	
シーリング材	シリコン系	ℓ	0.10	0.66	0.37	1.13	
補強鉄筋	S0345 D13	kg	30	29	30	89	
異形アンカー	D16	本	150	148	150	448	
後打ちコンクリート	超速凝コンクリート	m ³	0.32	0.31	0.32	0.95	

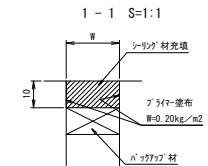
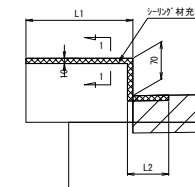
伸縮裝置標準平面図 S=1:10



伸縮裝置標準平面図 S=1:10



地覆部止水工詳細図

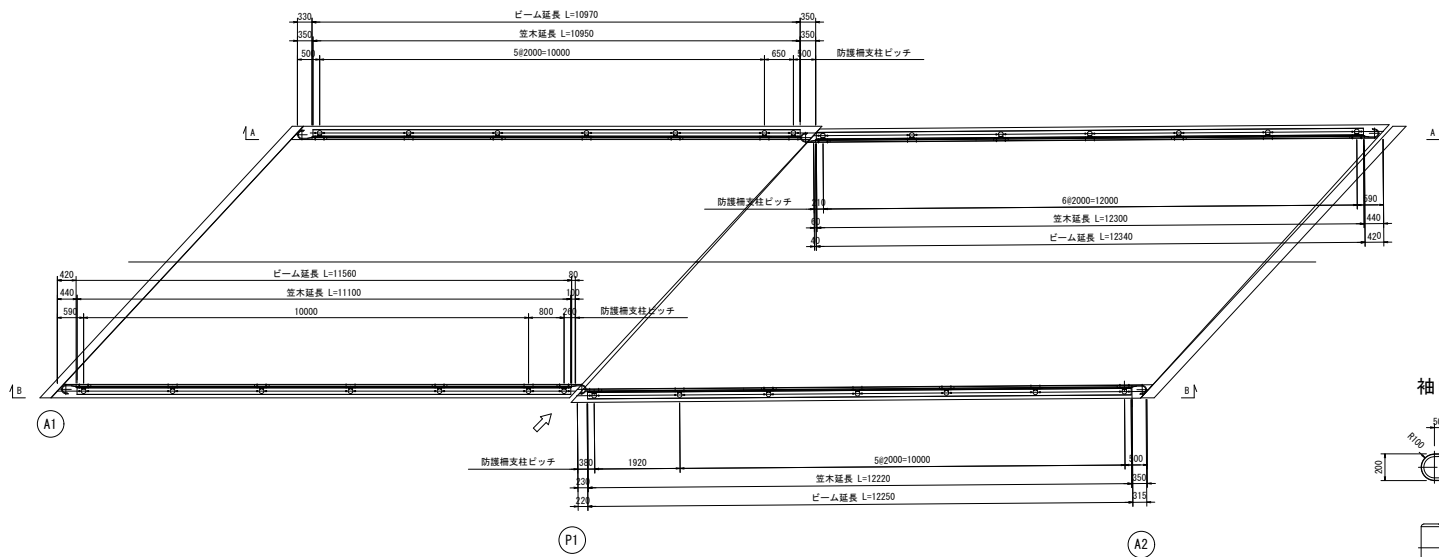


		L1	L2	W
A1	上流側	410	-	-
	下流側	410	-	-
P1	上流側	356	140	-
	下流側	321	85	-
A2	上流側	400	-	-
	下流側	334	-	-

認可、実施	（電 告）	第 回 変 更
年度、番号	令和 4 年度	通河津 30 号
路線名	布施加田今1号線	
工事名	橋梁（中島橋他）補修工事	
地名	長浜市布施町	
図面名	中島橋 伸縮装置工図	
縮尺	図 示	
図面番号	24 枚 / 内 4	
長浜市 都市建設部 道路河川課		

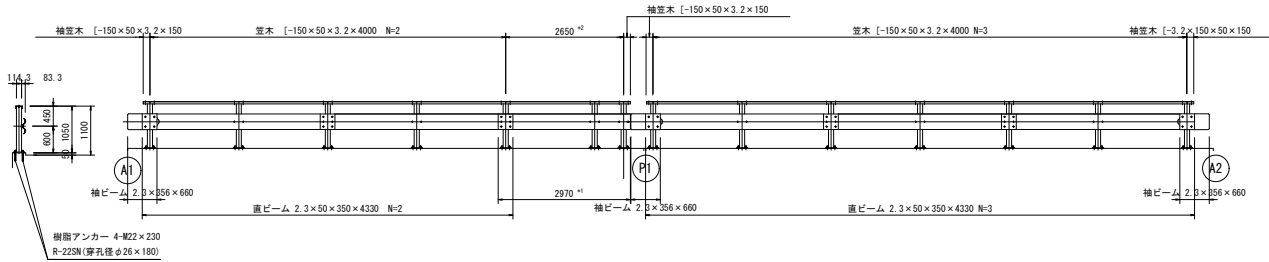
中島橋 防護柵工図

平面図 S=1:60

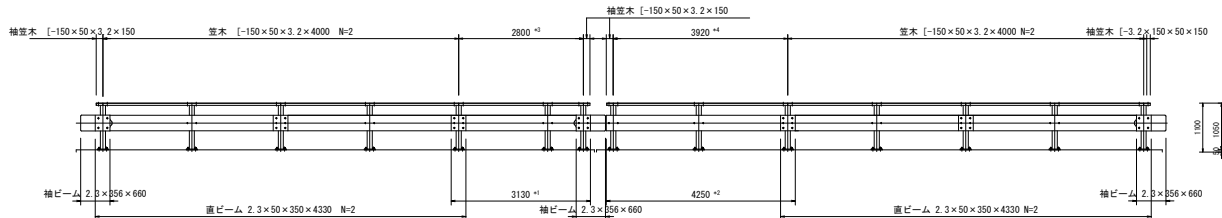


側面図 S=1:60

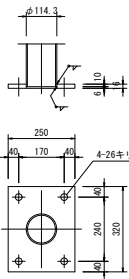
A-A



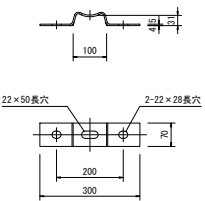
B-B



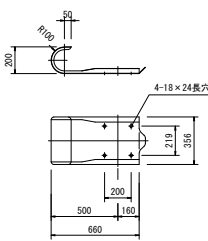
ベースプレート S=1:10



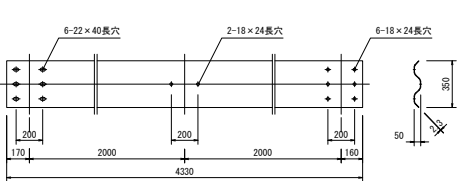
ブラケット S=1:8



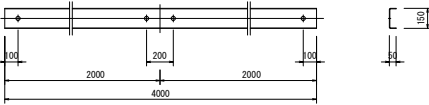
袖ビーム S=1:20



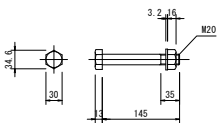
ビーム S=1:20



笠木 S=1:20

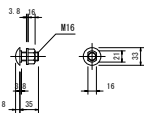


ブラケット取付用B.N.W. (4. 6)



ビーム取付用B.N.W. (6. 8)

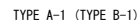
S=1:5 S=1:5



認可、実施	第 3 回 変 更
年度、番号	令和 4 年度 道河第 30 号
路線名	布勢加田今1号線
工事名	橋梁(中島橋他)補修工事
地名	長浜市布勢町
図面名	中島橋 防護柵工図
縮尺	図 示
図面番号	24 枚 / 内 5
長浜市 都市建設部 道路河川課	

S=1:10

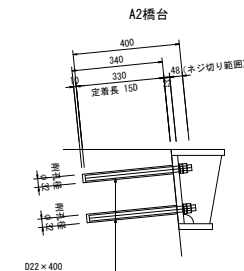
S=1:10



B-B

B-B

S=1:10



1-U.FLG PL 300x22x1000
1-L.FLG PL 200x22x1000
4-RIB PL 256x22x268 (NET 81%)
1-BASE PL 256x22x1000
6-Anc Bolt D22x600 (SD345)
(2ナット M20. ワッシャー M20)

1-U. FLG PL 200x22x700
1-L. FLG PL 125x22x700
3-RIB PL 256x22x168 (NET 78%)
1-BASE PL 256x22x700
4-Anc Bolt D22x600 (SD345)
(2ナット M20. ワッシャー M20)

1-U. FLG PL 300x22x700
1-L. FLG PL 200x22x700
3-RIB PL 256x22x268 (NET 81%)
1-BASE PL 256x22x700
4-Anc Bolt D22x600 (SD345)
(2ナット M20, ワッシャー M20)

1-U.FLG PL 200x22x1000
1-L.FLG PL 125x22x1000
4-RIB PL 256x22x166 (NET 79%)
1-BASE PL 256x22x1000
6-Anc Bolt D22x400 (SD345)
(2ナット M20, ワッシャー M20)

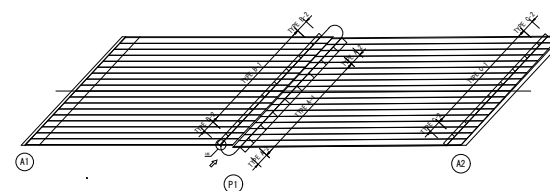
1-U.FLG PL 200x22x1000
1-L.FLG PL 125x22x1000
4-RIB PL 256x22x168 (NET 78%)
1-BASE PL 256x22x1000
6-Anc Bolt D22x600 (SD345)
(2ナット M20. ワッシャー M20)

1-U. FLG PL 200x22x700
1-L. FLG PL 125x22x700
3-RIB PL 256x22x166 (NET 79%)
1-BASE PL 256x22x700
4-Anc Bolt D22x400 (SD345)
(2ナット M20. ワッシャー M20)

注) 1. 図中詳細寸法及び取付位置は、現地実測の上、決定すること。

2. 特記なき材質は、すべてSM400Aとする。
3. 鋼材には、溶融亜鉛メッキ(HDZ55)を施すこと。
4. ナット、ワッシャー、アンカーボルトねじ切り部には、溶融亜鉛メッキ(HDZ35)を施すこと。
5. A部には無取縮モデルタルを充填すること。

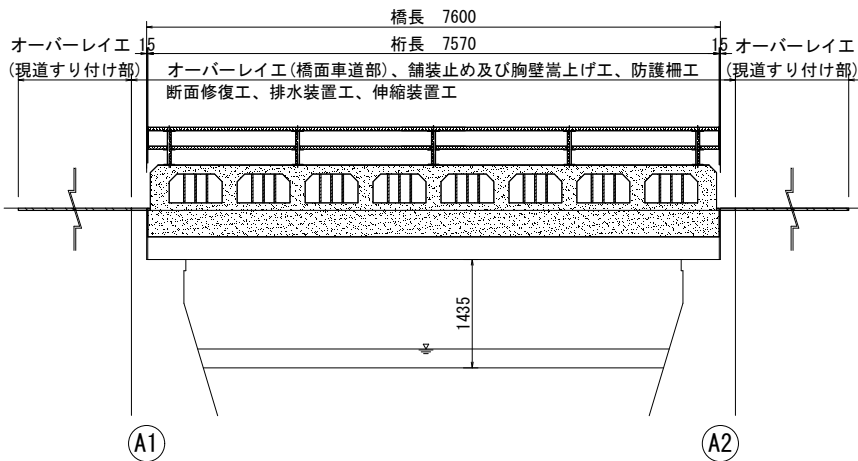
位置図 S=1:150



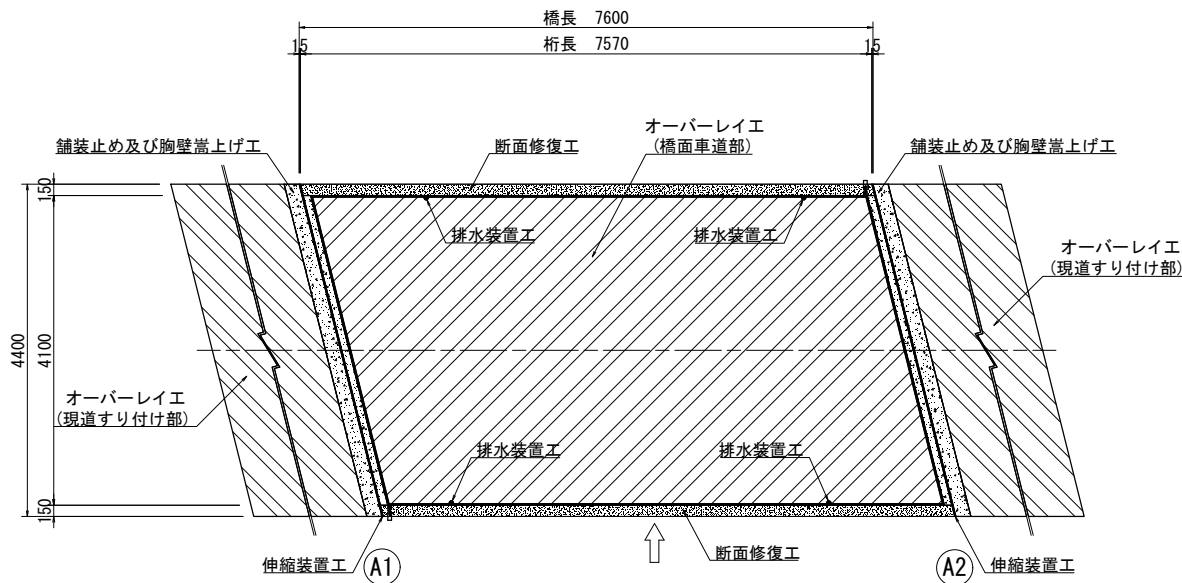
認可、実施	（国） 第 四 回 変 更
年度、番号	令和 4 年度 道河第 3 号
路線名	布勢加田今1号線
工事名	橋梁（中島橋）補修工事
地名	長浜市布勢町
図面名	中島橋 縁端拡幅工図
縮尺	図示
図面番号	24 枚 / 内 6
長浜市 都市建設部 道路河川課	

米川橋 補修一般図

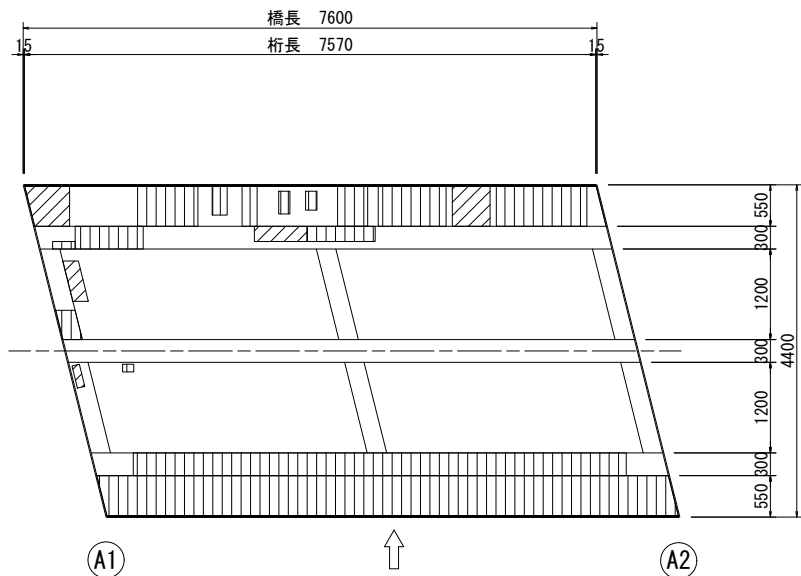
側面図 S=1:50



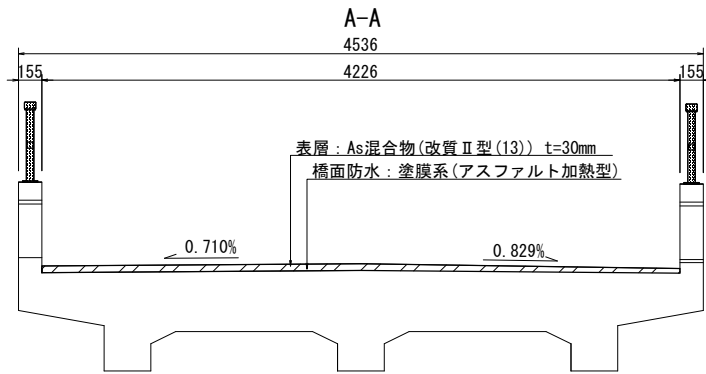
橋面図 S=1:50



桁下面図 S=1:50

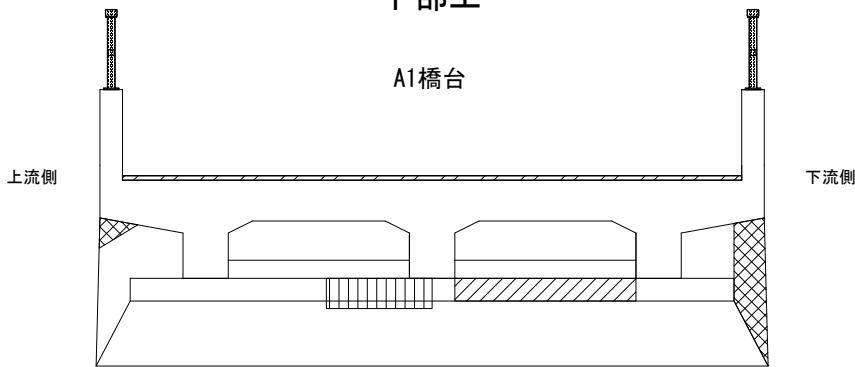


断面図 S=1:25

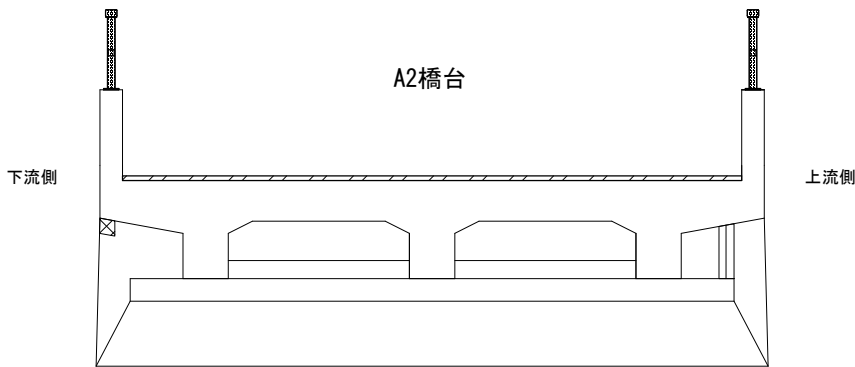


下部工

A1橋台



A2橋台



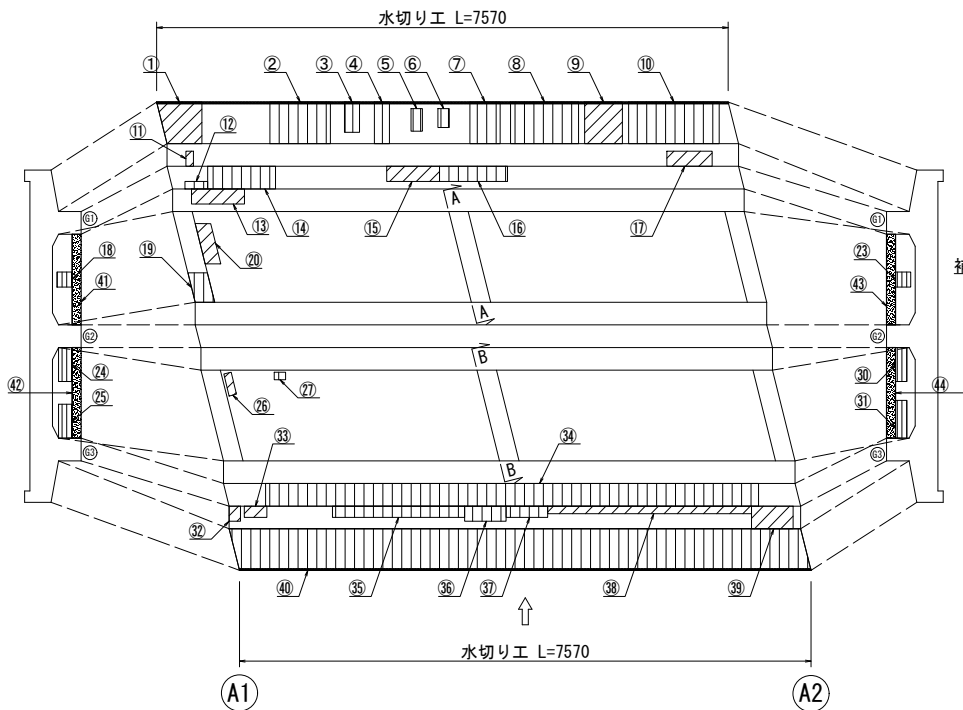
凡例

記号	工種	補修部位
	オーバーレイ工	橋面車道部
	オーバーレイ工	現道すり付け部
	舗装止め及び胸壁嵩上げ工	A1、A2胸壁、舗装端部
	断面修復工(鉄筋露出)	主桁、横桁、床版、A1縦壁 A2胸壁、防護柵
	断面修復工(うき)	主桁、横桁、床版、A1縦壁
	断面修復工(断面欠損)	A1、A2胸壁
	断面修復工(骨材露出)	防護柵全面
	水切り工	地覆下面
	防護柵工	上・下流側防護柵上
	伸縮装置工	A1、A2上遊間部
	排水装置工	車道部

認可実施	当初	第	回変更
年度番号	令和4年度	道河第30号	
路線名	市道神前東公園線		
工事名	橋梁(中嶋橋他)補修工事		
地名	長浜市元浜町		
図面名	米川橋 補修一般図		
縮尺	図示		
図面番号	24枚ノ内7		
長浜市都市建設部道路河川課			

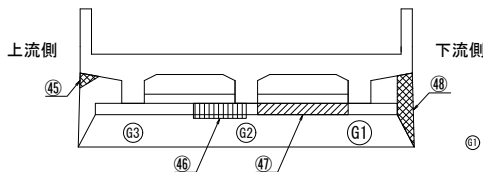
断面修復工

桁下面図

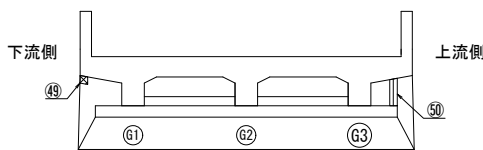


下部工

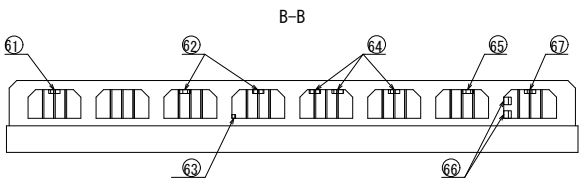
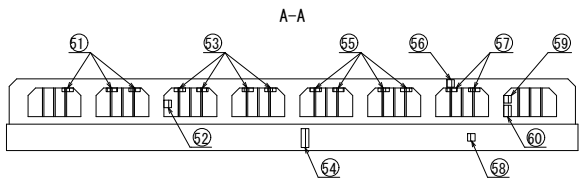
A1橋台



A2橋台



防護柵



- 凡例)
- 断面修復工(うき)
 - 断面修復工(鉄筋露出)
 - 断面修復工(断面欠損)
 - モルタル打設工
 - 水切り工

断面修復工(上部工)

No	幅 W(mm)	長さ L(mm)	深さ t(mm)
①	550	600	60
②	550	800	60
③	400	200	60
④	550	200	60
⑤	300	150	60
⑥	250	150	60
⑦	550	400	60
⑧	550	900	60
⑨	550	500	60
⑩	550	1200	60
⑪	200	100	50
⑫	100	300	50
⑬	200	700	30
⑭	300	900	50
⑮	200	700	50
⑯	200	900	50
⑰	200	600	30
⑱	200	200	250
⑲	400	250	50
⑳	200	550	60
㉑	100	400	250
㉒	100	1200	250

断面修復工(上部工)

No	幅 W(mm)	長さ L(mm)	深さ t(mm)
㉓	200	200	250
㉔	450	180	250
㉕	450	180	250
㉖	100	300	60
㉗	100	150	60
㉘	100	350	250
㉙	100	400	250
㉚	450	180	250
㉛	200	150	30
㉜	150	300	30
㉝	300	6500	50
㉞	150	1750	30
㉟	200	550	30
㊱	150	550	30
㊲	100	2700	30
㊳	300	550	30
㊴	550	7570	60
㊵	120	1200	250
㊶	120	1200	250
㊷	120	1200	250
㊸	120	1200	250

断面修復工(下部工)

No	幅 W(mm)	長さ L(mm)	深さ t(mm)
㊹	200	250	200
㊺	200	700	70
㊻	150	1200	70
㊼	220	750	100
㊽	100	100	200
㊾	150	400	70

断面修復工(防護柵)

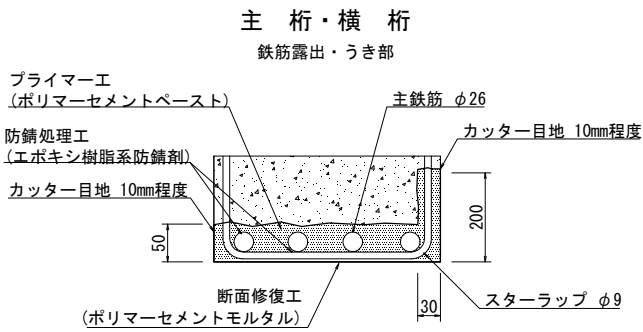
No	幅 W(mm)	長さ L(mm)	深さ t(mm)
㊿	50	150	30
1	100	100	30
2	50	150	30
3	250	100	30
4	50	150	30
5	100	100	30
6	50	150	30
7	100	100	30
8	150	100	30
9	50	150	30
10	50	150	30
11	50	150	30
12	50	150	30
13	50	150	30
14	50	150	30
15	50	150	30
16	100	150	30
17	100	100	30

- 注) 1. 断面修復の範囲及び深さについては、施工着手前に再度確認し、必要に応じて補修計画の見直しを行うこと。
2. 端横桁は現在、添架管により主鉄筋が切断撤去されており、添架管撤去後に添え筋による補強が困難と考えられることから、断面欠損部、および端横桁下面と橋座面との離隔をポリマーセメントモルタルで充填することにより曲げが生じない構造とすること。
3. G1-G2桁間の中間横桁については、添架管により主鉄筋が切断されているが、切断範囲が小さく、残主鉄筋と添え筋とのラップ長がある程度確保できることから、添え筋による補強を行った後、ポリマーセメントモルタルによる断面修復を行うこと。

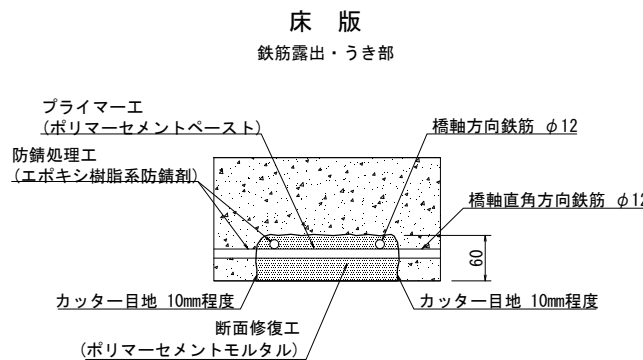
認可実施	当初	第	回変更
年度番号	令和4年度	道河第30号	
路線名	市道神前東公園線		
工事名	橋梁(中嶋橋他)補修工事		
地名	長浜市元浜町		
図面名	米川橋 補修図(1)		
縮尺	図示		
図面番号	24枚ノ内8		
長浜市都市建設部道路河川課			

米川橋 補修図(2)

断面修復工

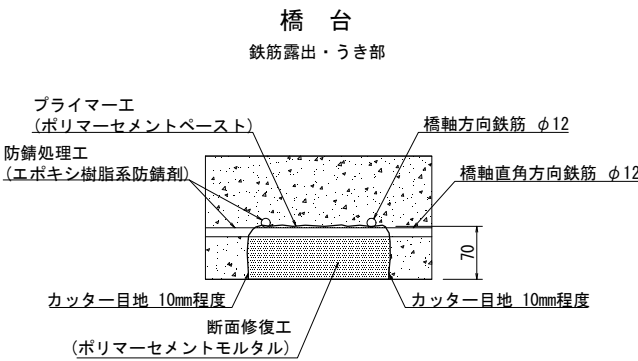


注) 上記はつり深さは想定値であり、部位によって鋼材のかぶりにばらつきがあることが想定されるため、主桁下面については主鉄筋の内側まで、主桁側面については、スターラップの内側まではつり出し、断面修復を行うこと。

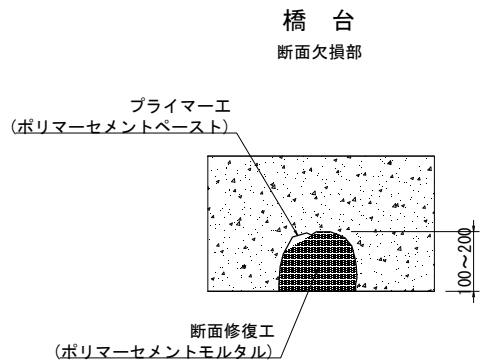


注) 上記はつり深さは想定値であり、部位によって鋼材のかぶりにばらつきがあることが想定されるため、橋軸方向鉄筋の内側まではつり出し、断面修復を行うこと。

断面修復工要領図 S=1:5

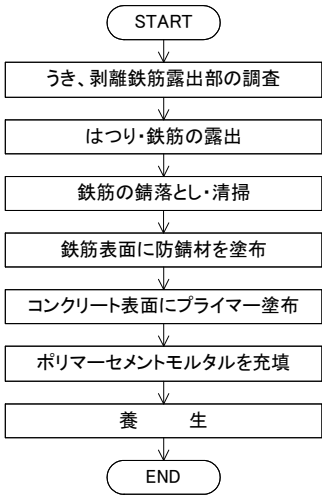


注) 上記はつり深さは想定値であり、部位によって鋼材のかぶりにばらつきがあることが想定されるため、橋軸直角方向鉄筋の内側まではつり出し、断面修復を行うこと。

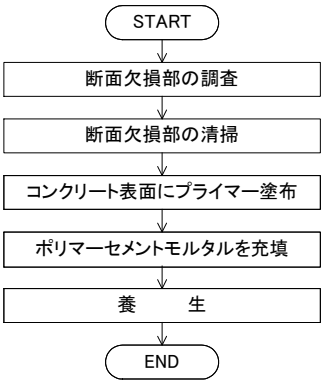


注) 上記断面修復深さは、現場状況に合わせて見直すこと

施工手順
(うき・鉄筋露出部)



施工手順
(断面欠損部)



断面修復材(ポリマーセメントモルタル)

NEXCO構造物施工管理要領

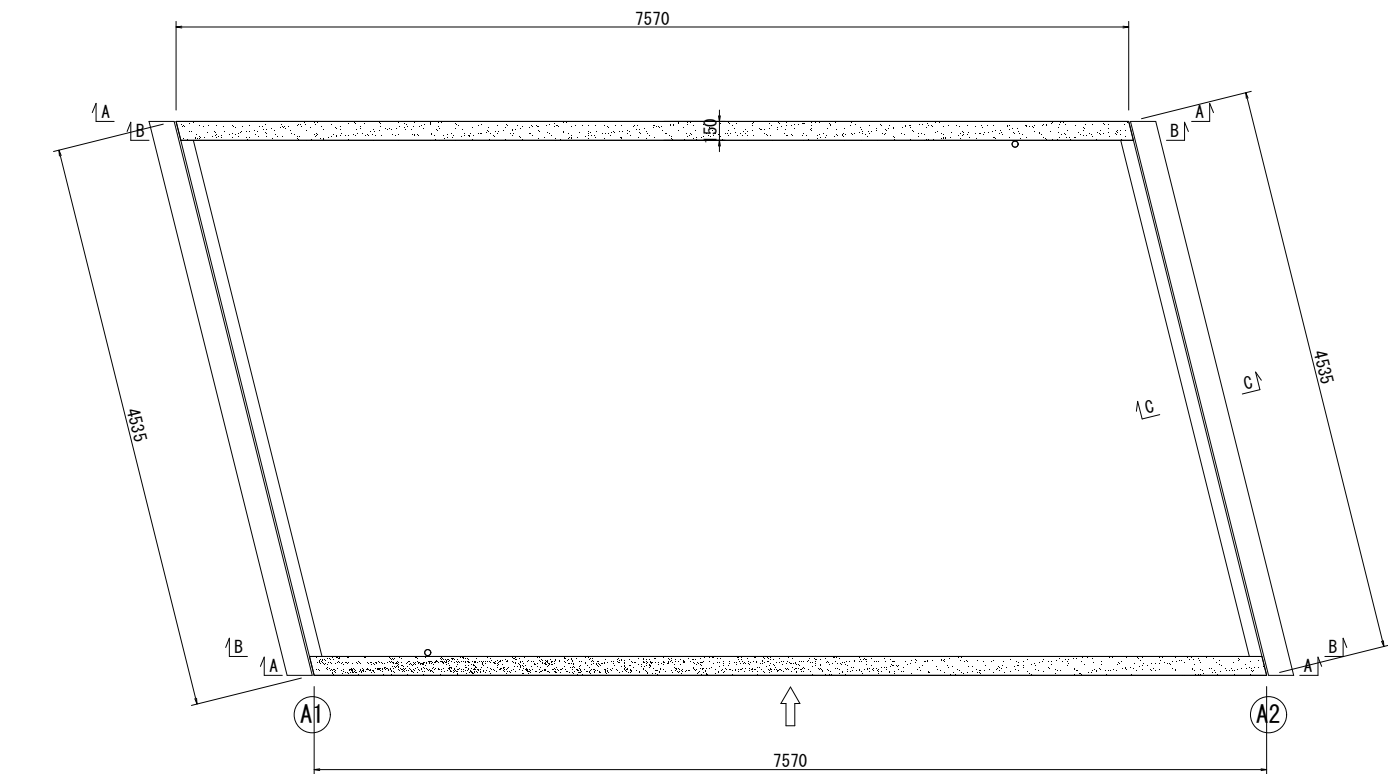
試験項目	規格値
ひび割れ抵抗性	幅0.05mm以上のひび割れが発生しないこと
コンクリートの付着性	1.5N/mm ² 以上
鉄筋背面への充填性	有害な空隙がないこと
寸法安定性	0.05%以下
熱膨張性	2×10 ⁻⁵ /°C以下
中性化抵抗性	補修設計で定めた中性化速度係数と同等
凍結融解抵抗性	負荷後の相対弾性係数が60%以上かつ負荷後のコンクリートと断面修復材との付着強度は1.5N/mm ² 以上
遮塩性	補修設計で定めた塩化物イオンの拡散係数と同等
圧縮強度	補修設計で定めた設計基準強度以上
静弾性係数	補修設計定めた値と同等

認可 実施	当 初	第	回変更
年度 番号	令和 4 年度 道河第 30 号		
路 線 名	市道神前東公園線		
工 事 名	橋梁（中嶋橋他）補修工事		
地 名	長浜市元浜町		
図 面 名	米川橋 補修図（2）		
縮 尺	図 示		
図 面 番 号	24 枚 ノ 内 9		
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課			

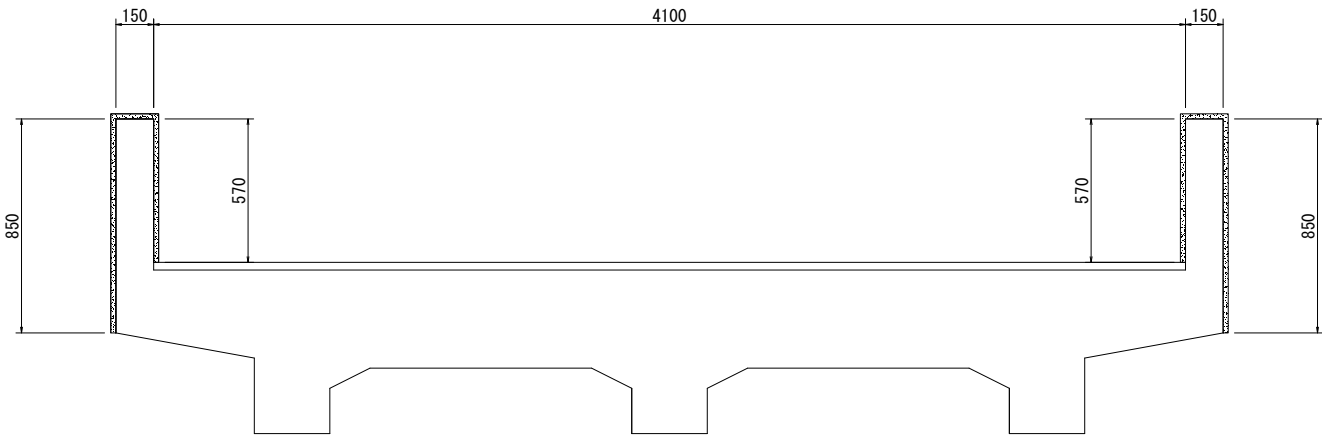
米川橋 補修図(3)

断面修復工・道路付属構造物塗装工

橋面図 S=1:30

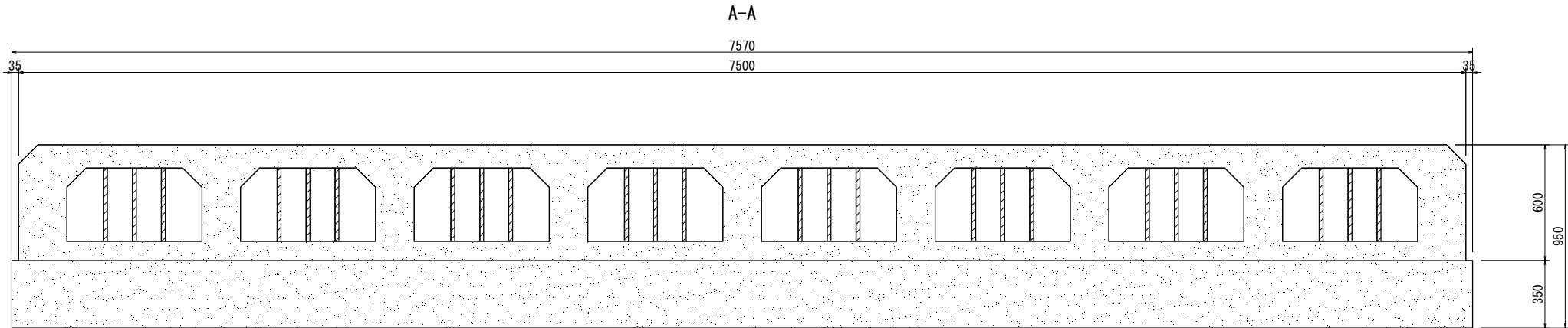


断面図 S=1:15

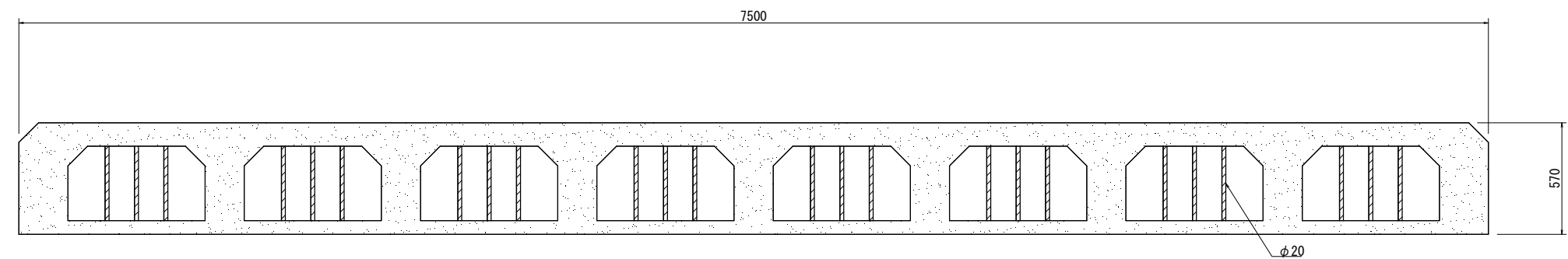


凡例)
断面修復工(表面劣化・骨材露出)
道路付属構造物塗装工(防護柵縦棧)

側面図 S=1:15



B-B



道路付属構造物塗装工(防護柵縦棧)		
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)
素地調整	3種	
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120

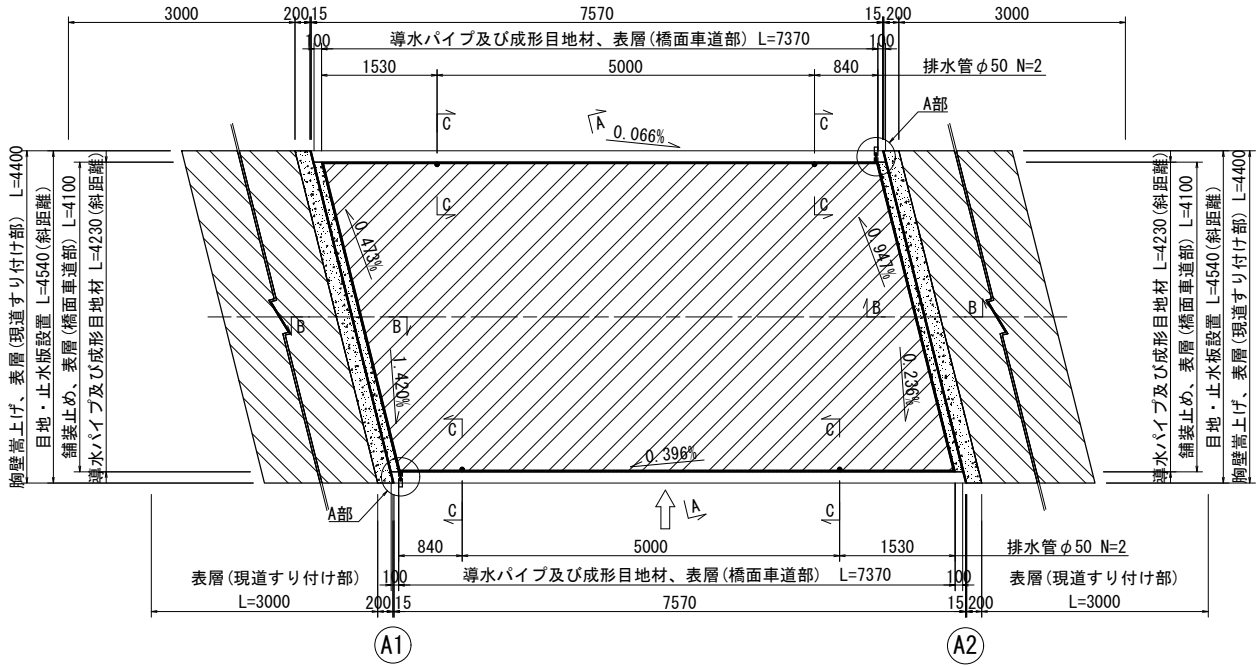
注) 1. 防護柵及び地覆の断面修復は、コンクリート表面にポリマーセメントモルタルを厚さ5mm程度でコンクリート表面に塗布するものとする。

認可 実施	当 初	第	回変更
年度 番号	令和 4 年度 道河第 30 号		
路 線 名	市道神前東公園線		
工 事 名	橋梁（中嶋橋他）補修工事		
地 名	長浜市元浜町		
図 面 名	米川橋 補修図（3）		
縮 尺	図 示		
図 面 番 号	24 枚 ノ 内 10		
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課			

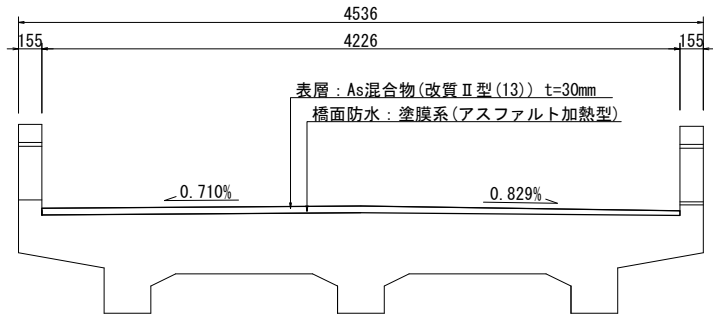
米川橋 補修図(4)

オーバーレイ工・排水装置工

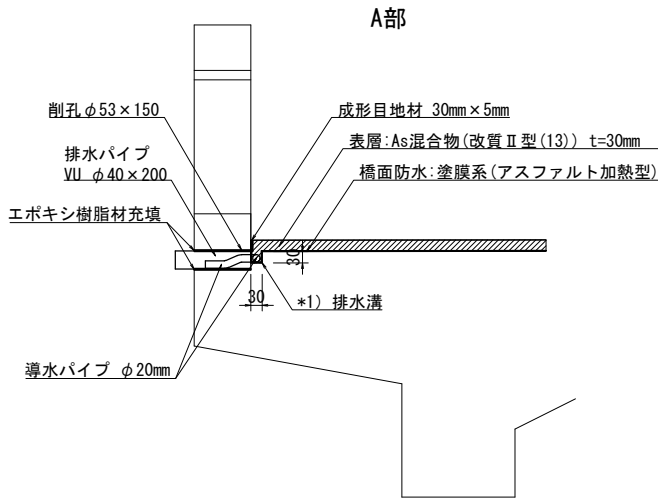
橋面図 S=1:50



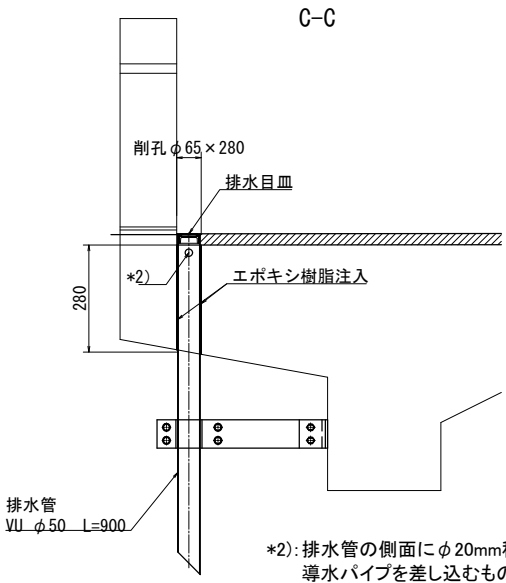
断面図 S=1:25



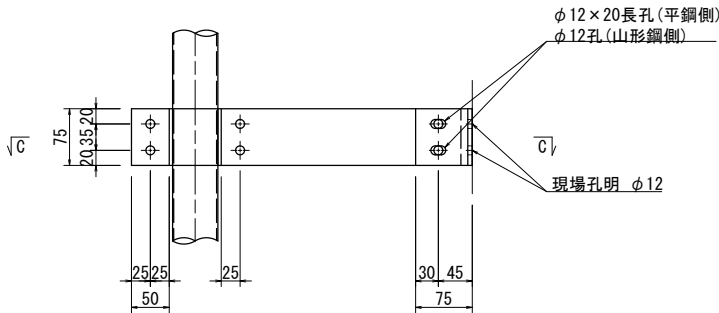
舗装端部構造図 S=1:10



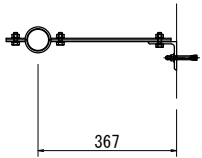
排水管設置図 S=1:10



支持金物詳細図 S=1:5

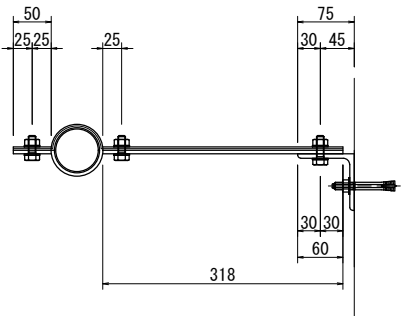


B-B



- (1箇所当り)
- 1-VU $\phi 50 \times 900$
 - 2-PL $75 \times 4.5 \times 469$
 - 1-L $75 \times 75 \times 6 \times 75$
 - 4-B, N. 2W $W_{3/8} \times 25$
 - 2-B, N. 2W $W_{3/8} \times 32$
 - 2-コンクリートアンカー M10 \times 80
 - 1-排水目皿 (ニッケルめっき仕上げ)

C-C



床版防水材品質規格

(社)日本道路協会
道路橋床版防水便覧 (H19. 3)

試験項目	規格値
防水性試験	1 試験温度 23℃ 減水量0. 2ml 以下
	2 試験温度 23℃ 漏水がないこと
ひび割れ追従性試験	1 試験温度-10℃ 床版防水座の折損が生じないこと
	2 試験温度-10℃ 追従限界ひび割れ幅0. 3mm以上
引張接着試験	試験温度 23℃ 強度0. 6N/mm2以上
	試験温度-10℃ 強度1. 2N/mm2以上
せん断試験	試験温度 23℃ 強度0. 15N/mm2以上
	試験温度 23℃ 変位量1. 0mm以上
	試験温度-10℃ 強度0. 8N/mm2以上
	試験温度-10℃ 変位量0. 5mm以上
水浸引張接着試験	試験温度 23℃ 水浸前の50%以上
耐薬品性試験	試験温度 23℃ 異常のないこと

注) 防水性試験1、2及びひび割れ追従試験1、2は、それぞれ1または2のいずれかの方法によってよい。

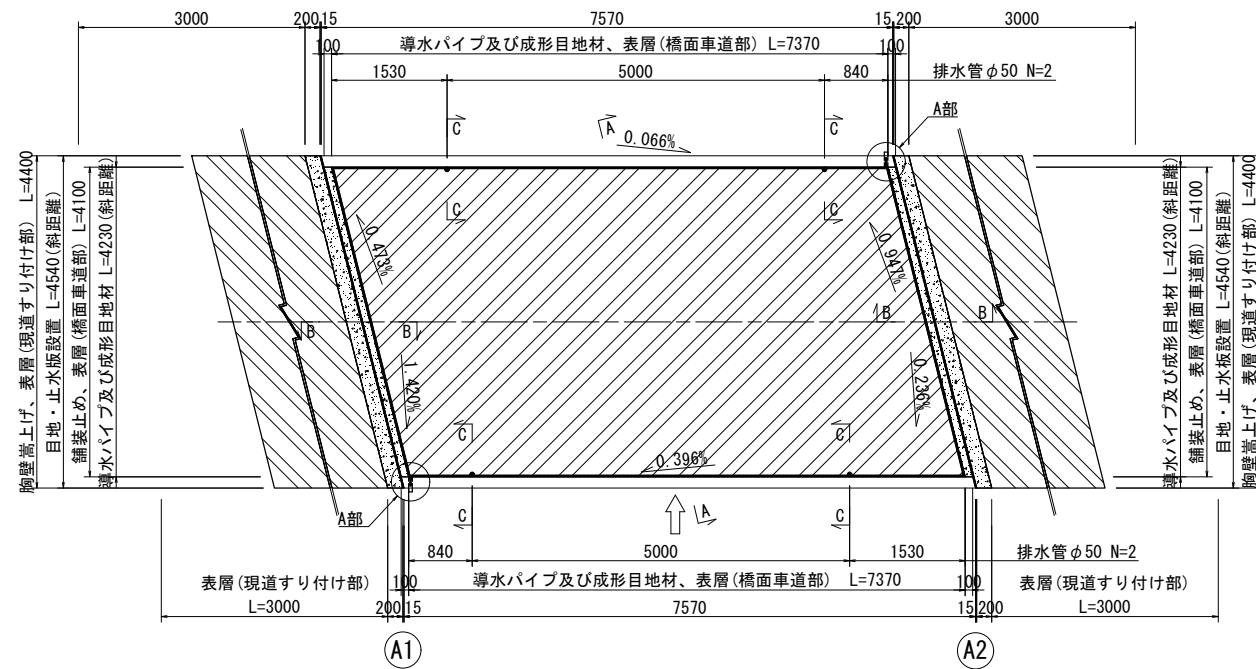
- 注) 1. 工事着手前に、橋面勾配の再計測を行い、橋面隅角部に滞水しないように必要に応じて導水パイプ、排水管及び排水パイプの配置を見直すこと。
2. 舗装すり付け範囲は、現場の状況に応じて適宜見直すこと

認可実施	当初	第	回変更
年度番号	令和4年度	道河第30号	
路線名	市道神前東公園線		
工事名	橋梁(中嶋橋他)補修工事		
地名	長浜市元浜町		
図面名	米川橋 補修図(4)		
縮尺	図示		
図面番号	24枚ノ内11		
長浜市都市建設部道路河川課			

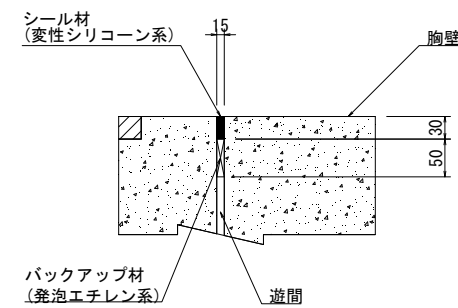
米川橋 補修図(5)

舗装止め及び胸壁嵩上げ工

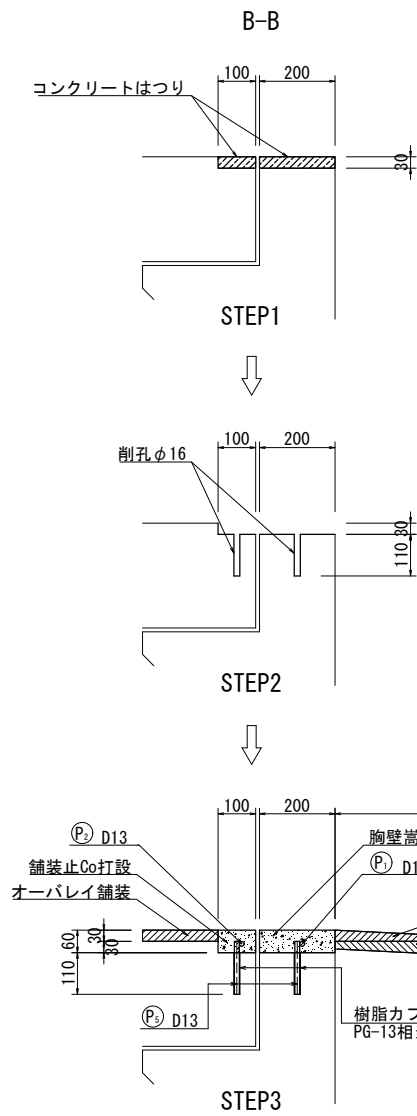
橋面図 S=1:50



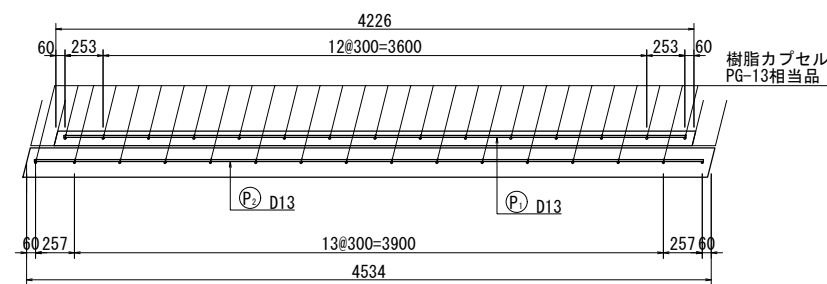
伸縮目地工 S=1:5



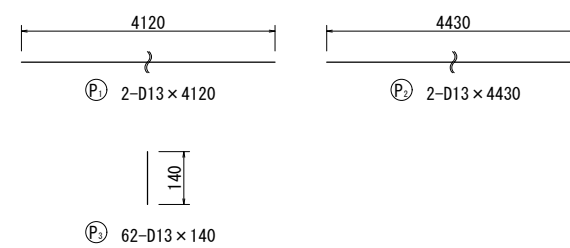
舗装止め及び胸壁嵩上げ工要領図 S=1:10



舗装止め及び胸壁配筋図 S=1:25



鉄筋加工図 S=1:10



鉄筋質量表

記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
Ⓐ	D13	4120	2	0.995	4.10	8	
Ⓑ	D13	4430	2	0.995	4.41	9	
Ⓒ	D13	140	62	0.995	0.14	9	
合 計				D13	26 kg		

注) 1. 工事着手前に、橋面勾配の再計測を行い、橋面隅角部に滞水しないように必要に応じて導水パイプ、排水管及び排水パイプの配置を見直すこと。
2. 舗装すり付け範囲は、現場の状況に応じて適宜見直すこと

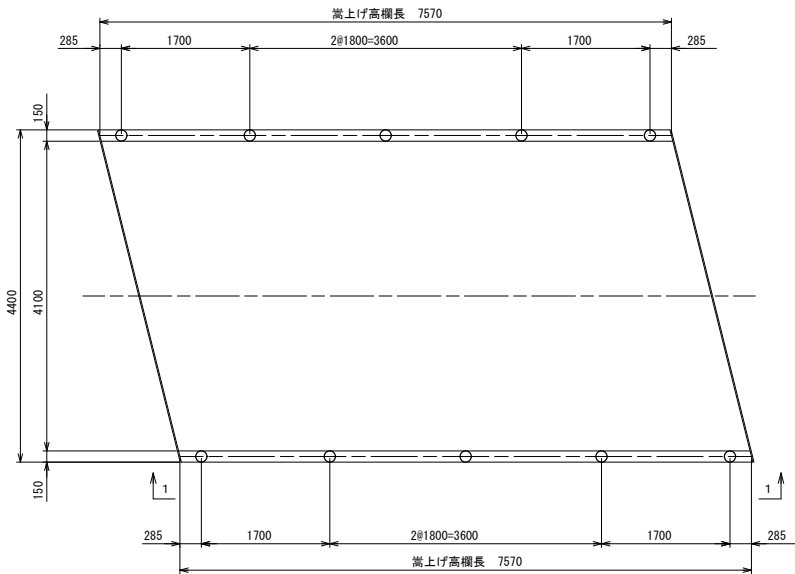
認可実施	当初	第	回変更
年度番号	令和4年度 道河第30号		
路線名	市道神前東公園線		
工事名	橋梁（中嶋橋他）補修工事		
地名	長浜市元浜町		
図面名	米川橋 補修図(5)		
縮尺	図示		
図面番号	24枚ノ内12		
長浜市都市建設部道路河川課			

米川橋 補修図(6)

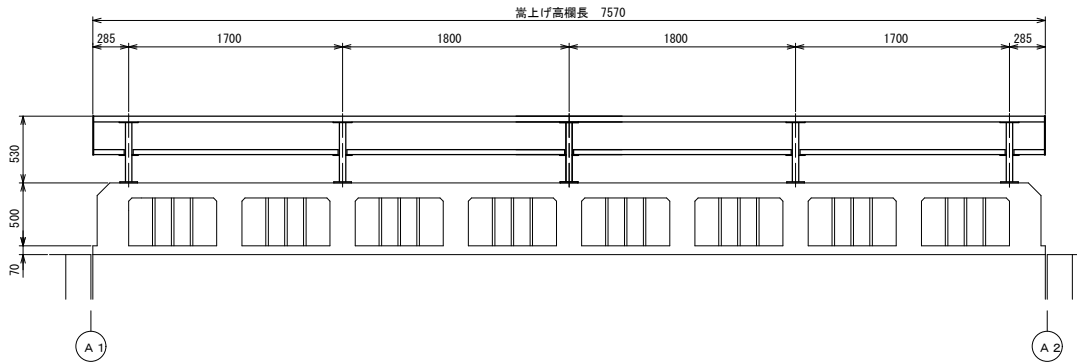
橋梁用防護柵工

平面割付図 S = 1 : 5 0

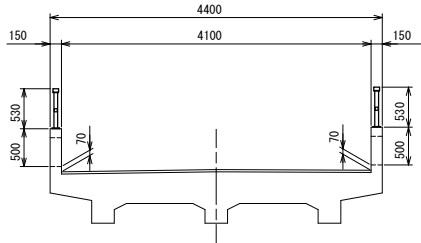
＜注記＞
・嵩上げ高欄長およびポストピッチは既設高欄天端中心位置での実長を示す。



側面図 (1 - 1) S = 1 : 3 0

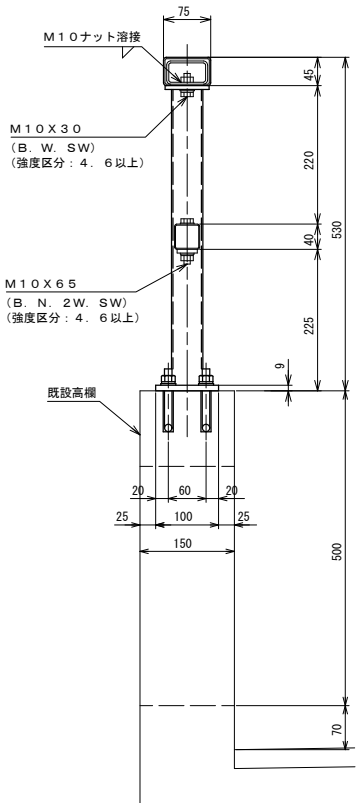


断面図 S = 1 : 5 0

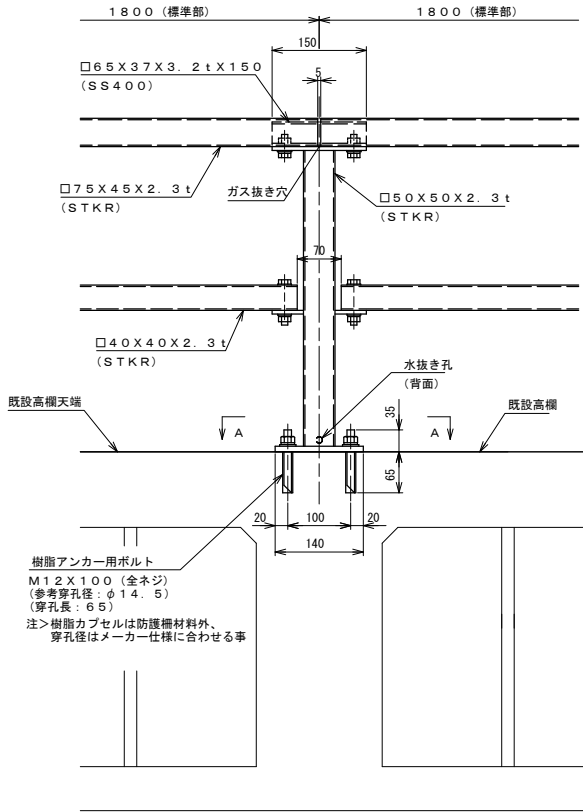


嵩上げ高欄詳細図 S = 1 : 6

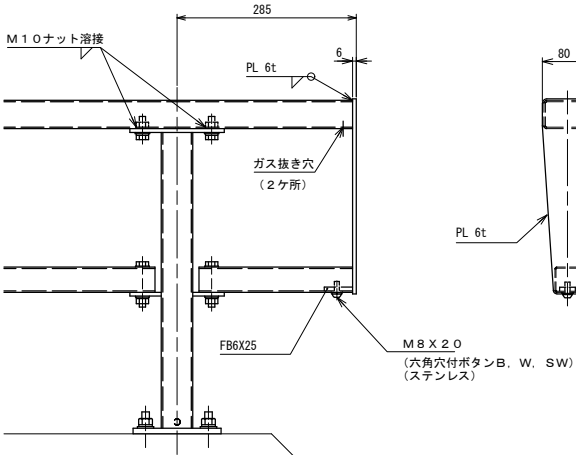
P種 H=530 (嵩上げ)



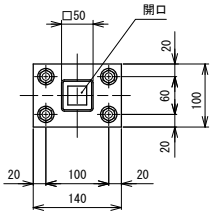
標準部



端部



A-A (ベース図)



材料表

P種 H=530 (嵩上げ)

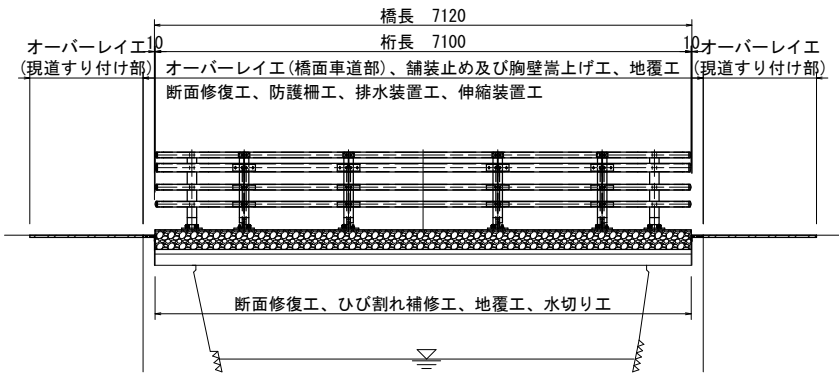
(標準部ポストピッチ1.8m、9.0m当りの場合)

名 称	寸 法	材 質	単 重	数 量	重 量
ポ ス ト	485X100X140	STKR, SS400	3.36	5.0本	16.8
レ ー ル	75X45X2.3t	STKR	4.06	8.975m	36.4
レ ー ル	40X40X2.3t	STKR	2.62	8.650m	22.7
継 手	65X37X3.2tX150 (N付)	SS400	0.71	5.0本	3.6
止メボルト	M10X30 (B. W. SW)	強度区分: 4.6以上	0.04	10.0本	0.4
止メボルト	M10X65 (B. N. 2W. SW)	強度区分: 4.6以上	0.08	10.0本	0.8
樹脂アンカー用ボルト	M12X100 (全ネジB. N. W. SW)	強度区分: 4.6以上	0.12	20.0本	2.4
合 計					83.1Kg
嵩上げ高欄長 L= 15.140m					
端部処理 4ヶ所					
ポスト総数量 10本					
表面処理: 溶融亜鉛めっき後、工場塗装仕上げ。					
・塗装色は「景観に配慮した防護柵の整備ガイドライン」に準拠とする。					
・ボルト関係はHDZ35仕上げ。					
注>現地確認のうえ、製作の事。					

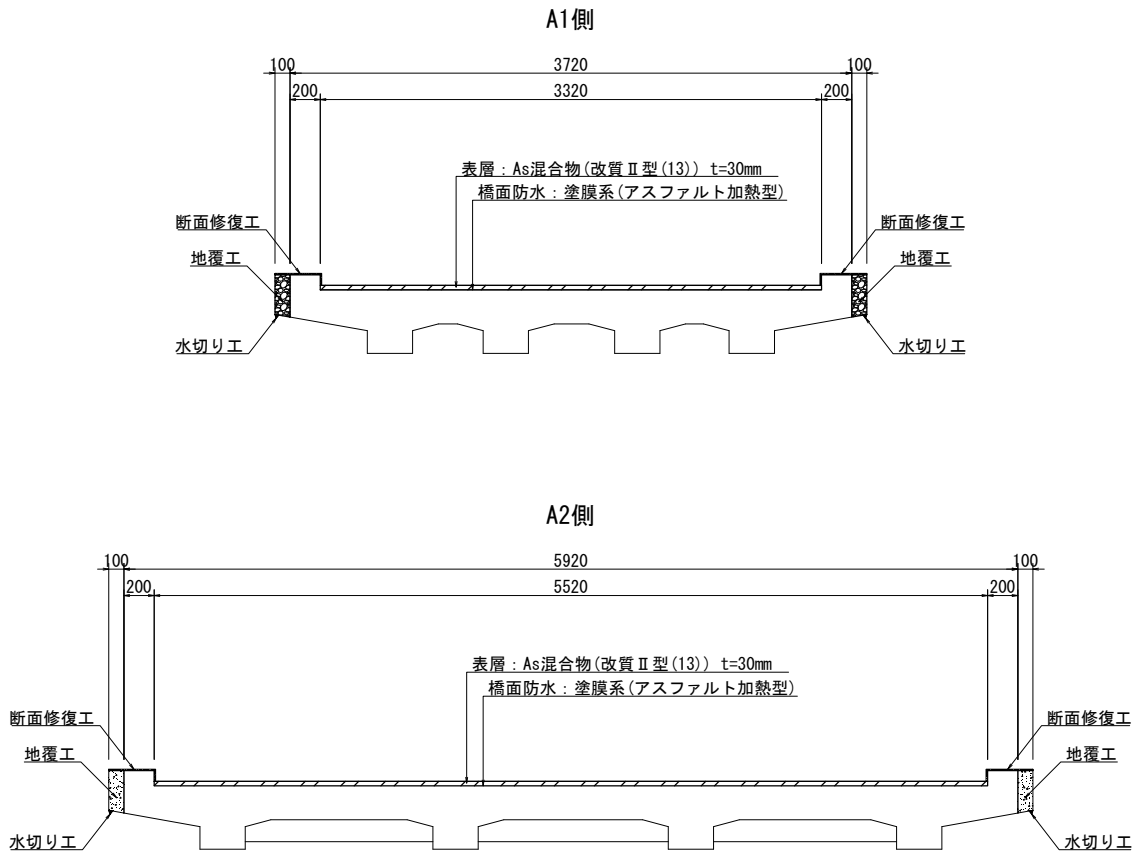
認可 実施	当 初	第	回変更
年度 番号	令和 4 年度 道河第 30 号		
路 線 名	市道神前東公園線		
工 事 名	橋梁（中嶋橋他）補修工事		
地 名	長浜市元浜町		
図 面 名	米川橋 補修図（6）		
縮 尺	図 示		
図 面 番 号	24 枚 ノ 内 13		
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課			

稲荷橋 補修一般図

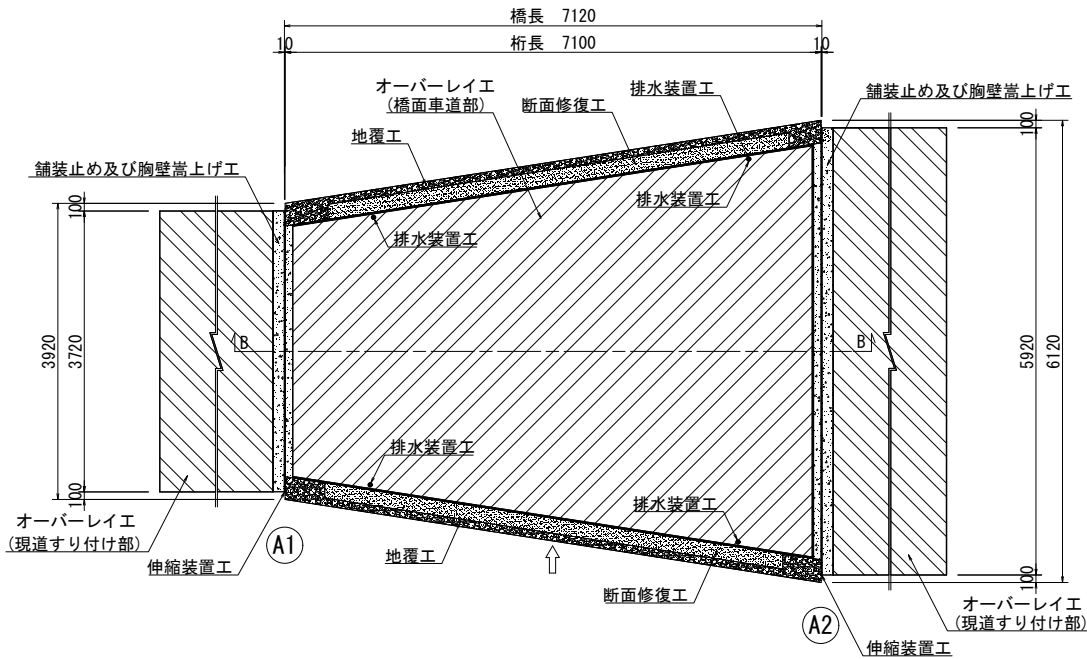
側面図 S=1:50



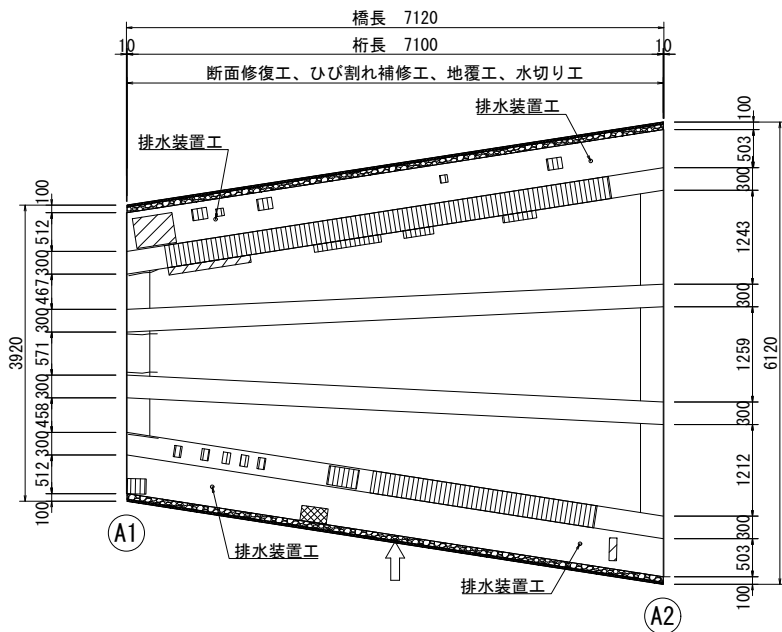
断面図 S=1:25



橋面図 S=1:50



桁下面図 S=1:50



凡例

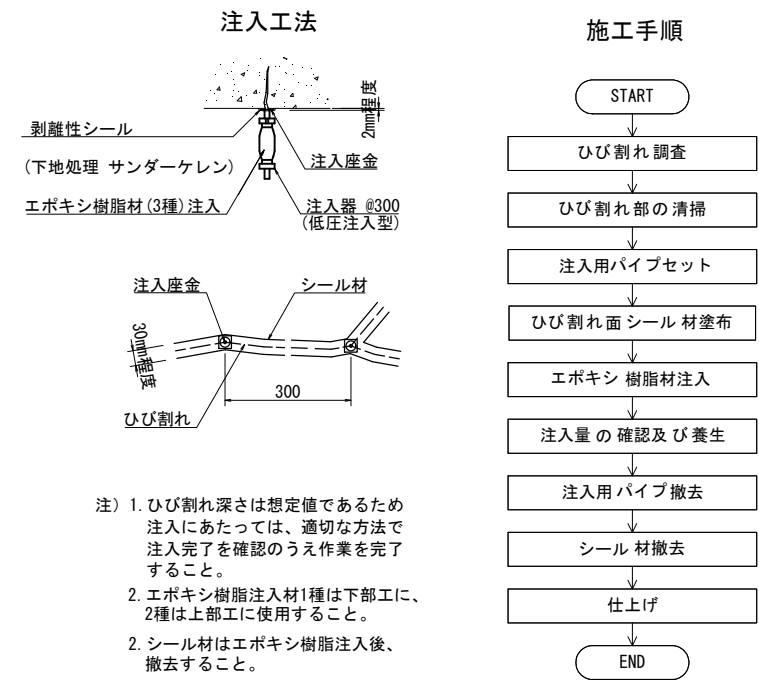
記号	工種	補修部位
	オーバーレイ工	橋面車道部
	オーバーレイ工	現道すり付け部
	舗装止め及び胸壁嵩上げ工	A1、A2胸壁、舗装端部
	断面修復工(鉄筋露出)	主桁、横桁、床版
	断面修復工(うき)	主桁、床版
	断面修復工(断面欠損)	床版
	断面修復工(骨材露出)	地覆上面、地覆車道側面
	ひび割れ補修工	主桁側面
	水切り工	地覆下面
	地覆工	上・下流側地覆
	防護柵工	上・下流側防護柵
	伸縮装置工	A1、A2上遊間部
	排水装置工	車道部

認可実施	当初	第	回変更
年度番号	令和4年度	道河第30号	
路線名	市道米川南北線		
工事名	橋梁(中嶋橋他)補修工事		
地名	長浜市宮前町		
図面名	稲荷橋 補修一般図		
縮尺	図示		
図面番号	24枚ノ内14		
長浜市都市建設部道路河川課			

稲荷橋 補修図(1)

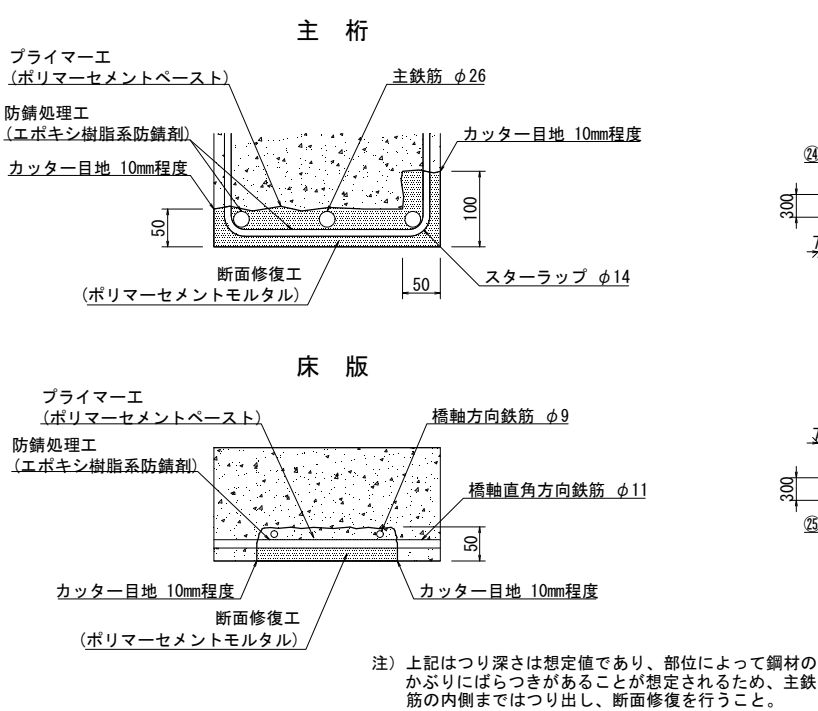
ひび割れ補修工

ひび割れ補修工施工要領図 S=1:5

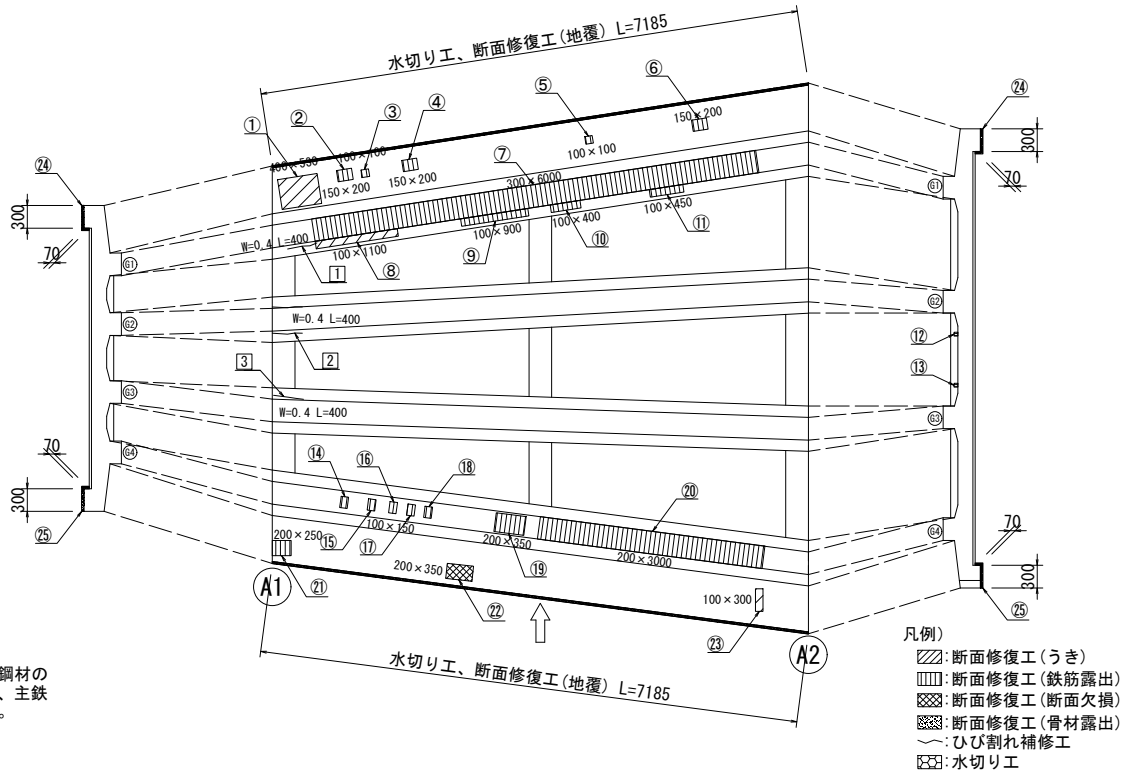


断面修復工

断面修復工要領図 S=1:5



桁下面図 S=1:50



注入材の品質規格

滋賀県土木交通部道路課 橋梁修繕マニュアル

項 目		単位	3 種	試験方法
ひび割れ進行区分 ^{注1)}		—	進行度C	—
ひび割れ幅		mm	0.2～0.5	—
未硬化の注入材	粘土(×10 ⁻³)	Pa・S	1000以下	JIS K 6833
	チキソトロピック係数 ^{注3)※}	—	—	JIS K 6833
	可使用時間 ^{注4)※}	min	30以上	温度上昇法 ^{注5)}
	収縮率	%	3.0以下	JIS A 6024
硬化した注入材	伸び率	%	100以上	JIS K 7161, JIS K 7162
	モルタル付着強さ	乾燥面	N/mm ² 6以上	JIS A 6024
		湿潤面	N/mm ² 3以上	JIS A 6024
	付着耐久性保持率	%	60以上	JIS A 6024

※これらの項目については、施工条件等を勘案の上、必ずしも基準値を満足する必要がないものとなし、判断される場合には、参考値として取り扱うことができる。

注1) ひび割れ進行区分

進行度A：日変化または温度変化によるひび割れの挙動および構造に起因するひび割れの発生を対象とし、異常なひび割れ幅の進行がないもの。

進行度B：完全にひび割れの進行が止まった保証が得られない場合。

進行度C：ひび割れ幅の増加が進行している場合。

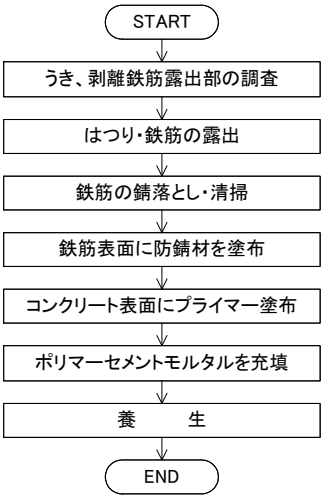
注2) 0.5mm以上のひび割れは別途考慮することとしているが、材料は5.0mmまで対応するものを示した。

注3) チキソトロピック係数とは、液状試料の揺変性の程度を表す。試験方法は、JIS K 6833を準用し、同一ローターでの2rpmにおける粘土と20rpmにおける粘土の比をチキソトロピック係数とする。

注4) 機械式注入工法の場合は、可使用時間の規定は適用しない。

注5) 温度上昇昇法とは、混合物の試料300gを500ccのポリ容器に採取し、試料の中央部に温度計または熱電対温度計を設置し、一定時間ごとに試料の発熱温度を測定する。測定開始時間は開始からとする。発熱温度が急激に立ち上がる試料は、その立ち上がり時間の70%を可使用時間とする。発熱温度の急激な立ち上がりのない資料は、最高発熱温度到達時間の50%を可使用時間とする。

施工手順



断面修復材(ポリマーセメントモルタル)

NEXCO構造物施工管理要領

試験項目	規格値
ひび割れ抵抗性	幅0.05mm以上のひび割れが発生しないこと
コンクリートの付着性	1.5N/mm ² 以上
鉄筋背面への充填性	有害な空隙がないこと
寸法安定性	0.05%以下
熱膨張性	2×10 ⁻⁵ /℃以下
中性化抵抗性	補修設計で定めた中性化速度係数と同等
凍結融解抵抗性	負荷後の相対弾性係数が60%以上かつ負荷後のコンクリートと断面修復材との付着強度は1.5N/mm ² 以上
遮塩性	補修設計で定めた塩化物イオンの拡散係数と同等
圧縮強度	補修設計で定めた設計基準強度以上
静弾性係数	補修設計定めた値と同等

断面修復工

No	幅 W(mm)	長さ L(mm)	深さ t(mm)
①	400	530	50
②	150	200	50
③	100	100	50
④	150	200	50
⑤	100	100	50
⑥	150	200	50
⑦	300	6000	50
⑧	100	1100	50
⑨	100	900	50
⑩	100	400	50
⑪	100	450	50
⑫	50	50	50
⑬	50	50	50
⑭	150	100	50
⑮	150	100	50
⑯	150	100	50
⑰	150	100	50
⑱	200	350	50
⑳	200	3000	50
㉑	200	250	50
㉒	200	350	20
㉓	100	300	50
㉔	370	7185	5
㉕	370	7185	5

ひび割れ注入工

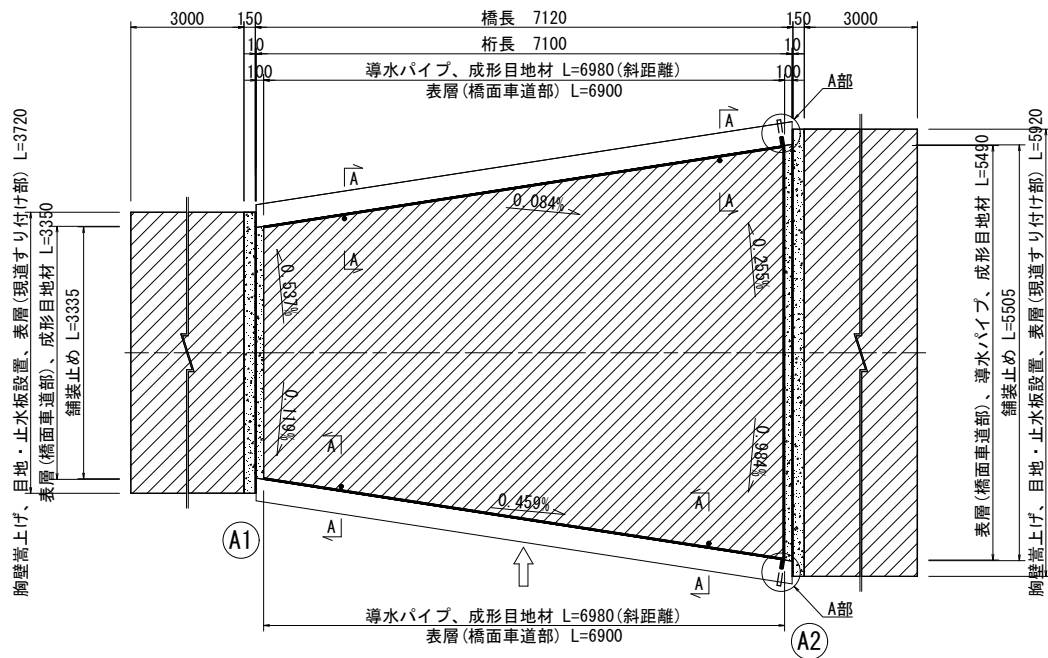
No	幅 W(mm)	延長 L(mm)	深さ t(mm)	備考
1	0.2	400	100.0	注入材
	30.0	400	2.0	シール材
2	0.2	400	100.0	注入材
	30.0	400	2.0	シール材
3	0.2	400	100.0	注入材
	30.0	400	2.0	シール材

認可 実施	当 初	第 回変更
年度 番号	令和 4 年度 道河第 30 号	
路 線 名	市道米川南北線	
工 事 名	橋梁（中嶋橋他）補修工事	
地 名	長浜市宮前町	
図 面 名	稲荷橋 補修図（1）	
縮 尺	図 示	
図 面 番 号	24 枚 ノ 内 15	
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課		

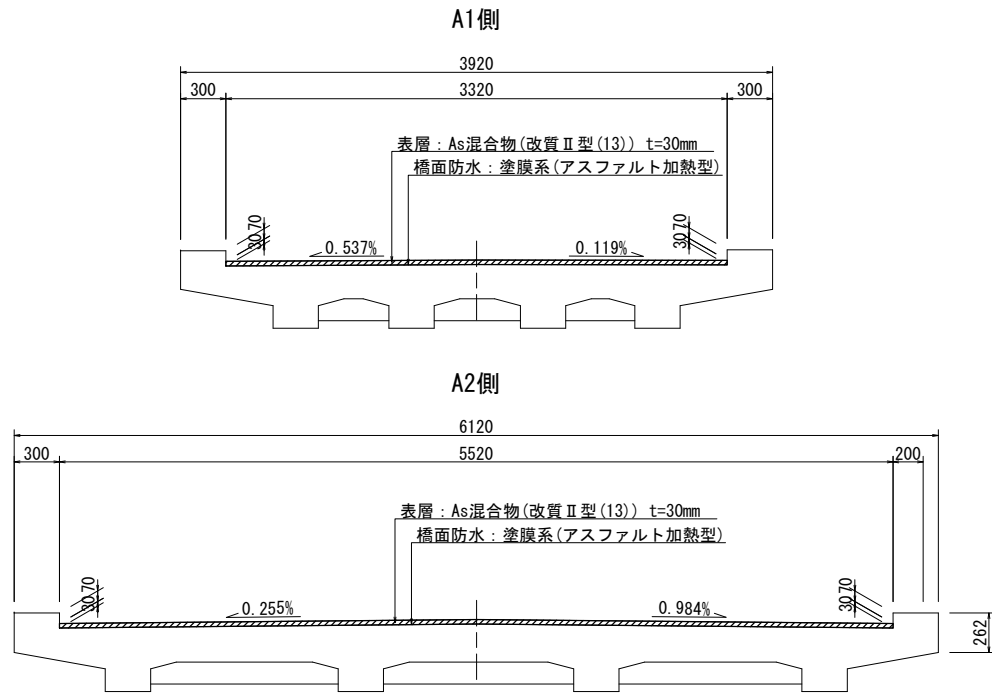
稲荷橋 補修図(2)

オーバーレイ工・排水装置工

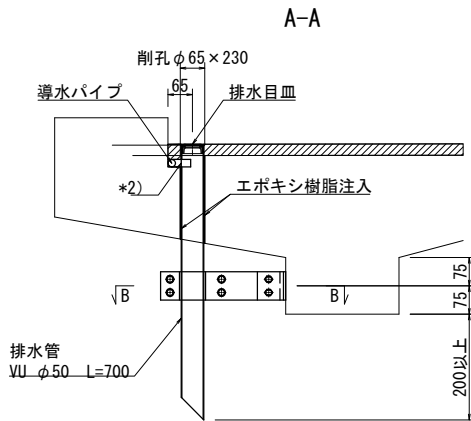
橋面図 S=1:50



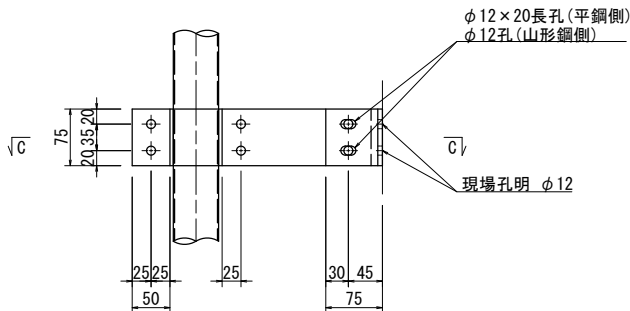
断面図 S=1:25



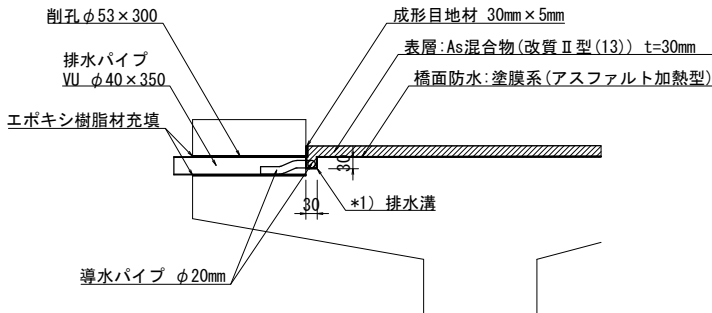
排水管設置図 S=1:10



支持金物詳細図 S=1:5



舗装端部構造図 S=1:10



*1): コンクリート舗装を幅30mm、深さ30mm程度ではつり取り、導水パイプを設置するスペースを設けるものとする。

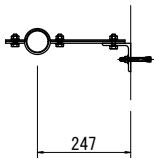
床版防水材品質規格

(社)日本道路協会
道路橋床版防水便覧(H19.3)

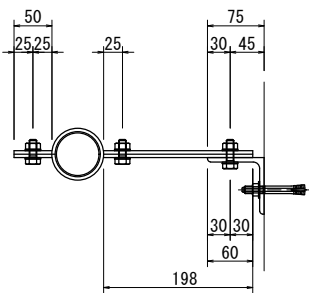
試験項目	規格値
防水性試験	1 試験温度 23℃ 減水量0.2ml以下
	2 試験温度 23℃ 漏水がないこと
ひび割れ追従性試験	1 試験温度-10℃ 床版防水座の折損が生じないこと
	2 試験温度-10℃ 追従限界ひび割れ幅0.3mm以上
引張接着試験	試験温度 23℃ 強度0.6N/mm2以上
	試験温度-10℃ 強度1.2N/mm2以上
せん断試験	試験温度 23℃ 強度0.15N/mm2以上
	試験温度 23℃ 変位量1.0mm以上
	試験温度-10℃ 強度0.8N/mm2以上
	試験温度-10℃ 変位量0.5mm以上
水浸引張接着試験	試験温度 23℃ 水浸前の50%以上
耐薬品性試験	試験温度 23℃ 異常のないこと

注) 防水性試験1、2及びひび割れ追従試験1、2は、それぞれ1または2のいずれかの方法によってよい。

B-B



C-C



- (1箇所当り)
- 1-VU φ50×700
 - 2-PL 75×4.5×349
 - 1-L 75×75×6×75
 - 4-B. N. 2W W_{3/8}×25
 - 2-B. N. 2W W_{3/8}×32
 - 2-コンクリートアンカー M10×80
 - 1-排水目皿 (ニッケルめっき仕上げ)

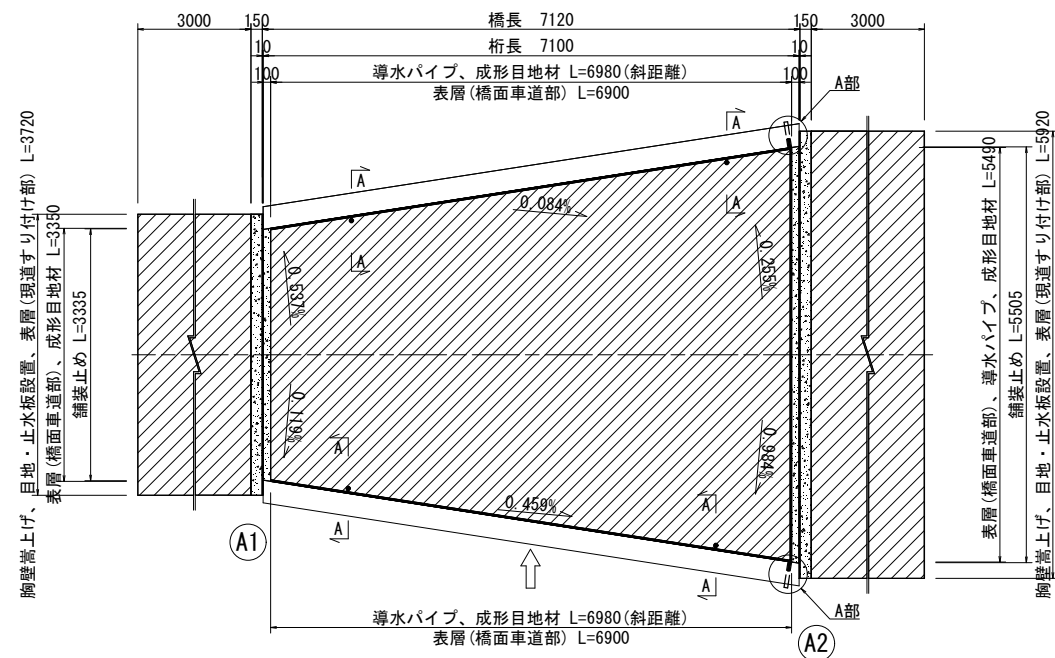
- 注) 1. 施工着手前に、橋面勾配の再計測を行い、橋面隅角部に滞水しないように必要に応じて導水パイプ、及び排水パイプの配置を見直すこと。
2. 舗装すり付け範囲及びすり付け舗装厚は、現場の状況に応じて適宜見直すこと。

認可 実施	当 初	第	回変更
年度 番号	令和 4 年度 道河第 30 号		
路 線 名	市道米川南北線		
工 事 名	橋梁（中嶋橋他）補修工事		
地 名	長浜市宮前町		
図 面 名	稲荷橋 補修図（2）		
縮 尺	図 示		
図 面 番 号	24 枚 ノ 内 16		
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課			

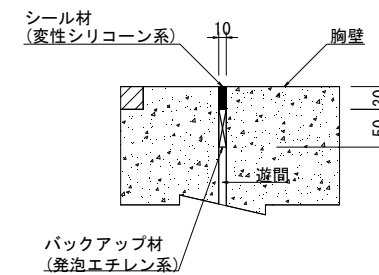
稲荷橋 補修図(3)

舗装止め及び胸壁嵩上げ工

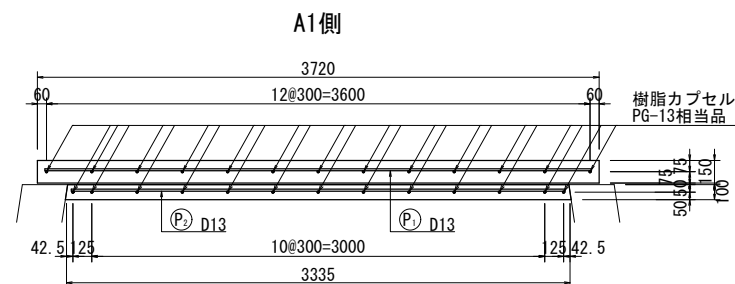
橋面図 S=1:50



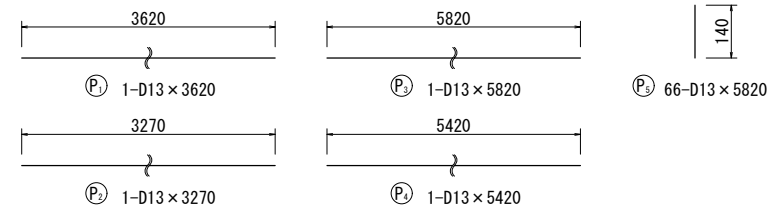
伸縮目地工 S=1:5



舗装止め及び胸壁配筋図 S=1:25



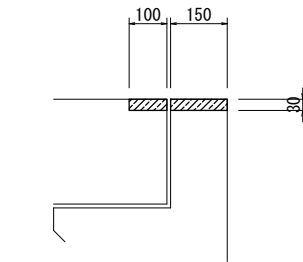
鉄筋加工図 S=1:10



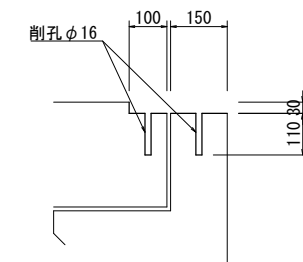
鉄筋質量表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
(P ₁)	D13	3620	1	0.995	3.60	4	
(P ₂)	D13	3270	1	0.995	3.25	3	
(P ₃)	D13	5820	1	0.995	5.79	6	
(P ₄)	D13	5420	1	0.995	5.39	5	
(P ₅)	D13	140	66	0.995	0.14	9	
合 計					D13	27 kg	

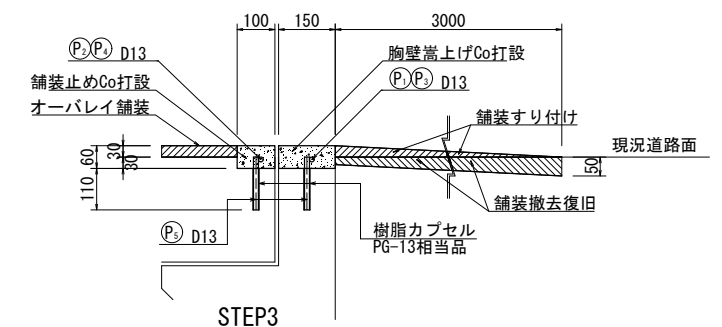
舗装止め及び胸壁嵩上げ工要領図 S=1:10



STEP1



STEP2



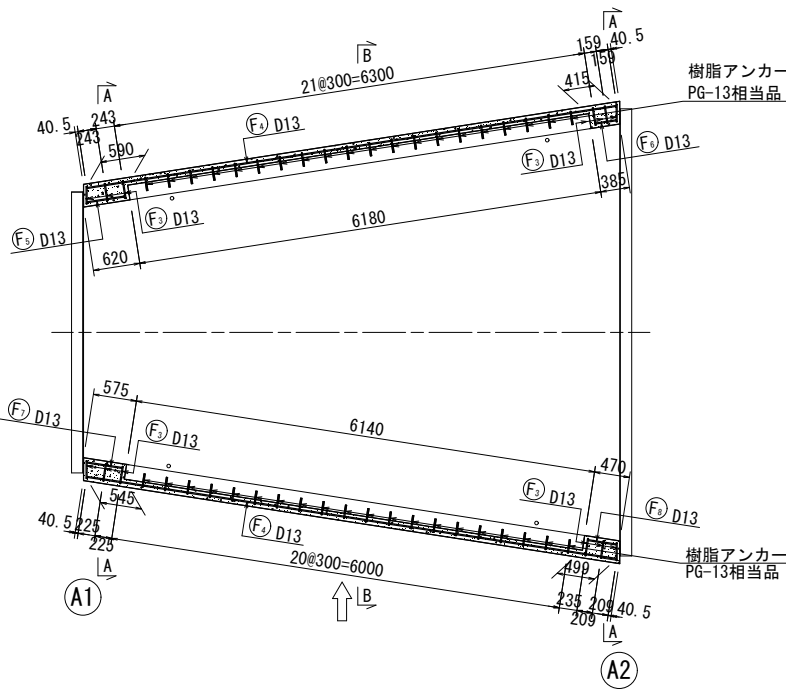
- 注) 1. 施工着手前に、橋面勾配の再計測を行い、橋面隅角部に滞水しないように必要に応じて導水パイプ、及び排水パイプの配置を見直すこと。
2. 舗装すり付け範囲及びすり付け舗装厚は、現場の状況に応じて適宜見直すこと。

認可実施	当初	第	回変更
年度番号	令和4年度 道河第30号		
路線名	市道米川南北線		
工事名	橋梁（中嶋橋他）補修工事		
地名	長浜市宮前町		
図面名	稲荷橋 補修図（3）		
縮尺	図示		
図面番号	24枚ノ内17		
長浜市都市建設部道路河川課			

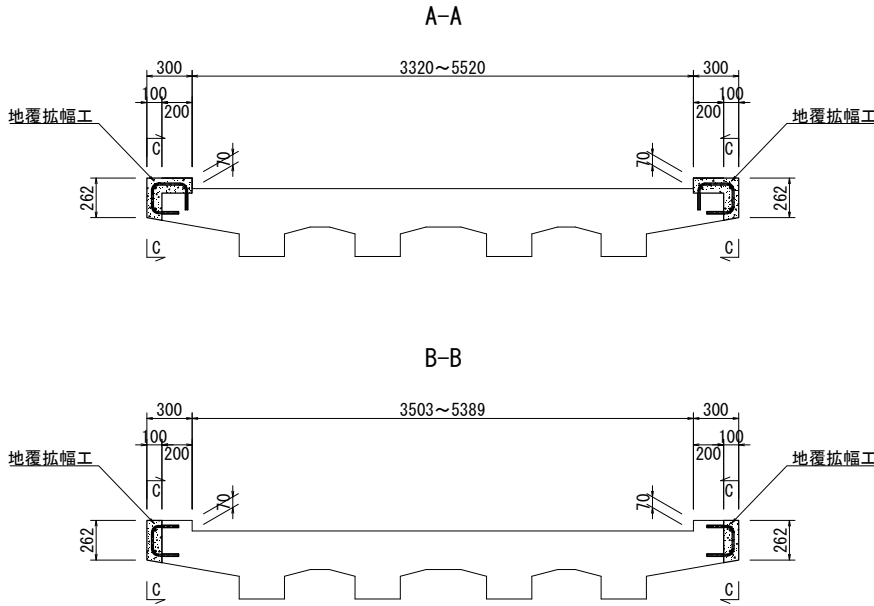
稲荷橋 補修図(4)

地覆工

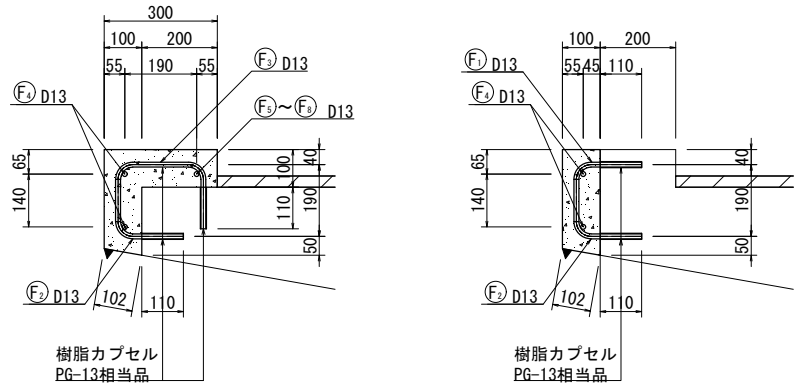
平面図 S=1:50



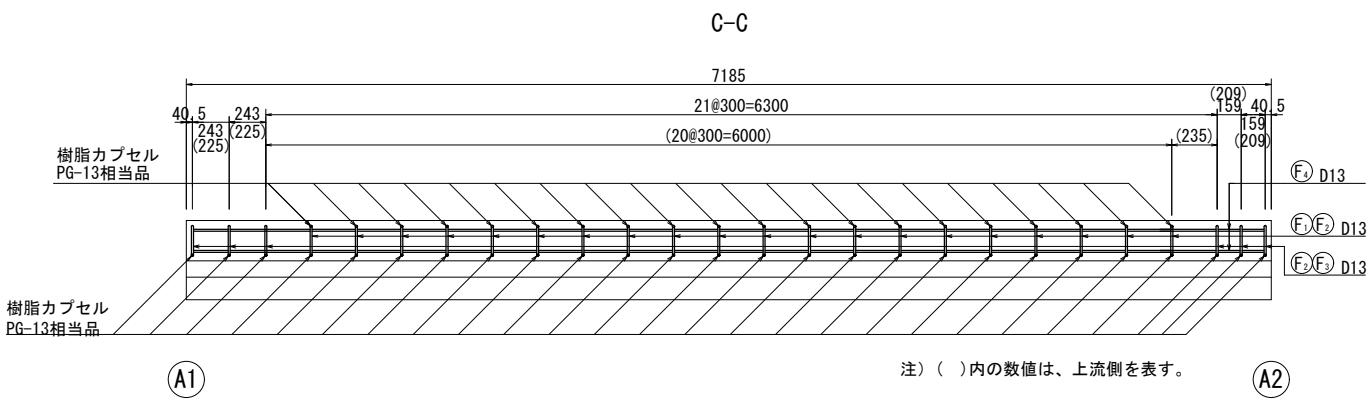
断面図 S=1:25



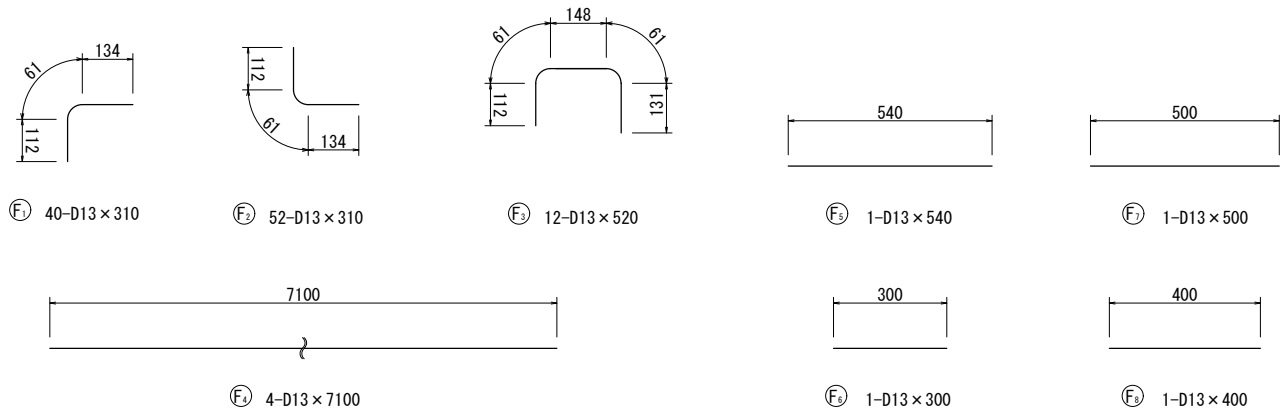
地覆配筋図 S=1:10



側面図 S=1:25



鉄筋加工図 S=1:10



鉄筋質量表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kgf/m)	1本当り質量 (kgf)	質 量 (kgf)	摘 要
F1	D13	310	40	0.995	0.31	12	┐
F2	D13	310	52	0.995	0.31	16	└
F3	D13	520	12	0.995	0.52	6	┐
F4	D13	7100	4	0.995	7.06	28	—
F5	D13	540	1	0.995	0.54	1	—
F6	D13	300	1	0.995	0.30	1	—
F7	D13	500	1	0.995	0.50	1	—
F8	D13	400	1	0.995	0.40	1	—
合 計				D13		66 kg	

注) 1. 地覆拡幅に際しては、事前にレーダ探査等により既設の鉄筋位置を把握した後、削孔を行うこと。

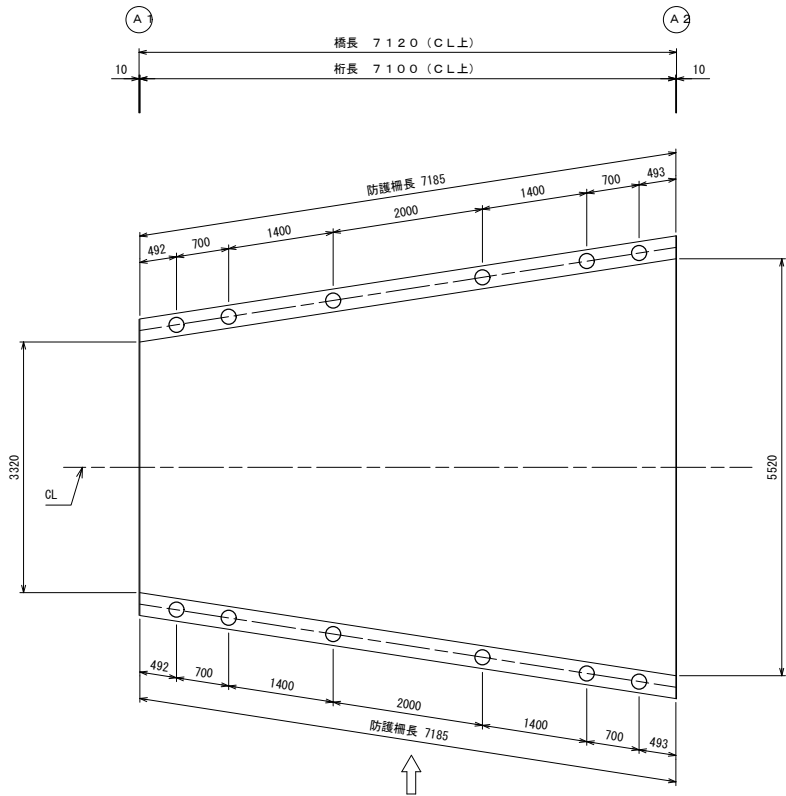
認 可 実 施	当 初	第	回 変 更
年 度 番 号	令 和 4 年 度 道 河 第 30 号		
路 線 名	市 道 米 川 南 北 線		
工 事 名	橋 梁 (中嶋橋他) 補 修 工 事		
地 名	長 浜 市 宮 前 町		
図 面 名	稲 荷 橋 補 修 図 (4)		
縮 尺	図 示		
図 面 番 号	24 枚 ノ 内 18		
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課			

稲荷橋 補修図(5)

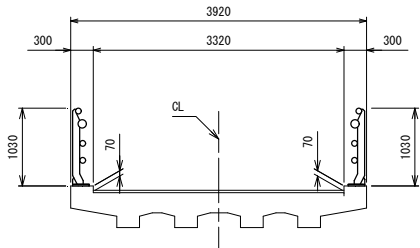
橋梁用防護柵工

平面割付図 S = 1 : 5 0

＜注記＞
・防護柵長およびポストピッチはアンカー中心位置での実長を示す。



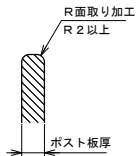
断面図 S = 1 : 5 0
A 1 側



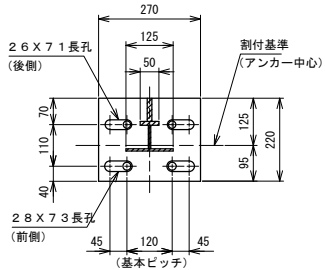
橋梁用ビーム型防護柵 S = 1 : 1 0
SK-4CF-103MWH

【参考】

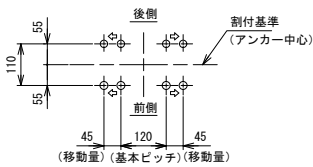
ポスト外周端面 S = 1 : 1



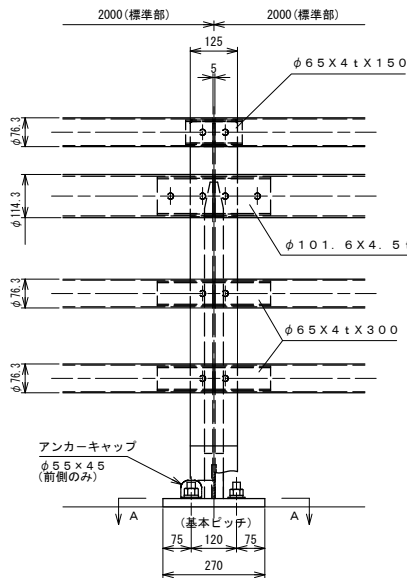
A-A (ベース図)



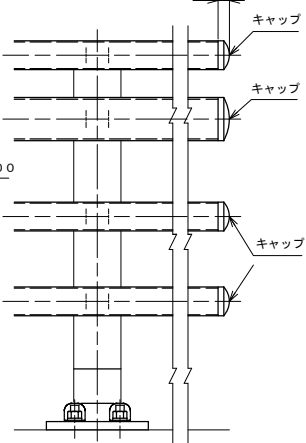
アンカーボルト移動可能寸法



標準部

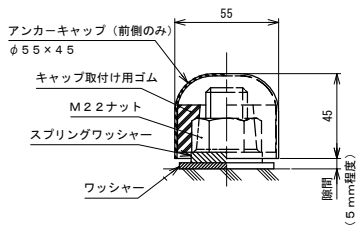


端部

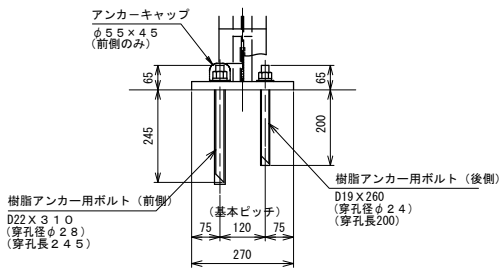


アンカーキャップ S = 1 : 2
(前側アンカー鋼製保護キャップ)

注>アンカーキャップは前側に取付。後側は取付不要。



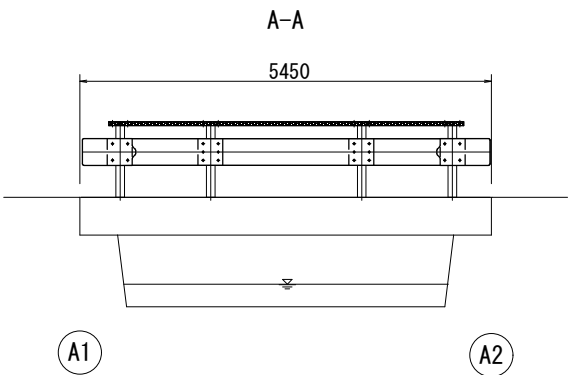
定着部



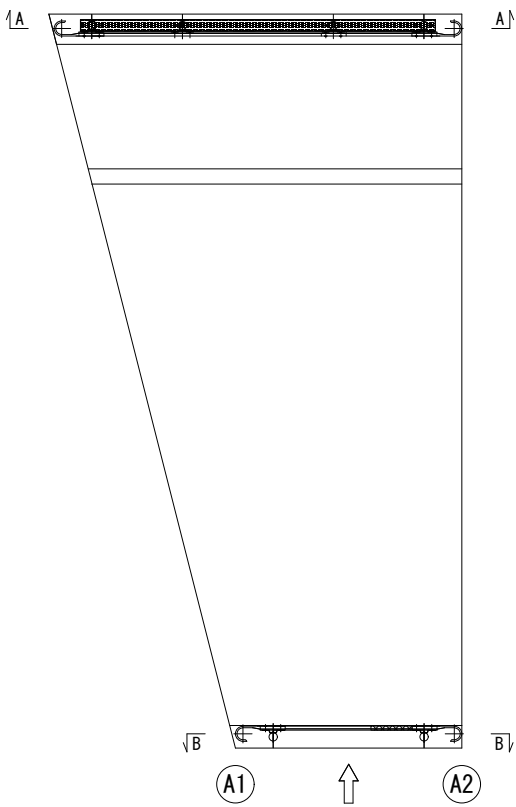
認可実施	当初	第	回変更
年度番号	令和4年度 道河第30号		
路線名	市道米川南北線		
工事名	橋梁(中嶋橋他)補修工事		
地名	長浜市宮前町		
図面名	稲荷橋 補修図(5)		
縮尺	図示		
図面番号	24枚ノ内19		
長浜市都市建設部道路河川課			

南日吉橋 補修一般図 S=1:50

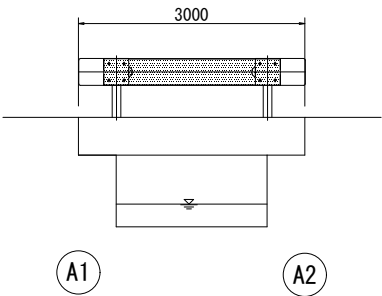
側面図 S=1:60



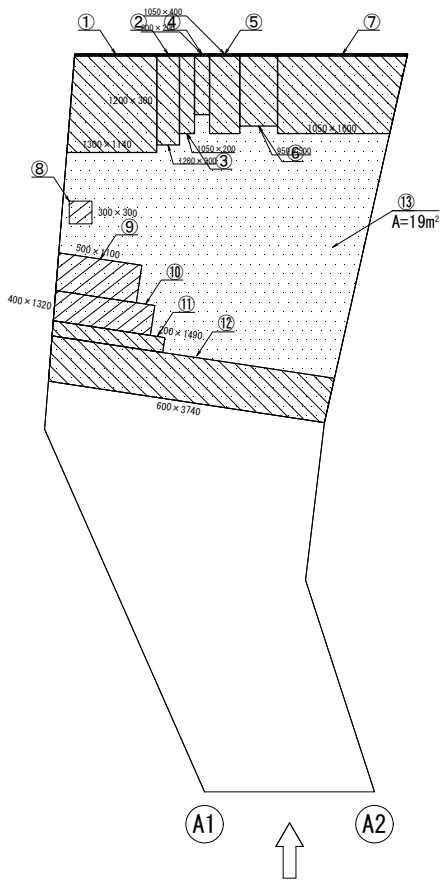
平面図 S=1:50



B-B



上部工

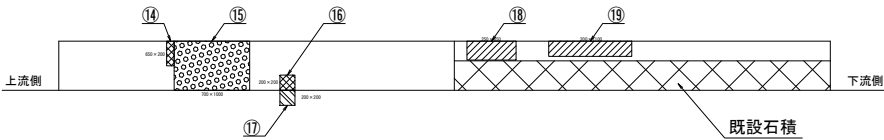


凡例

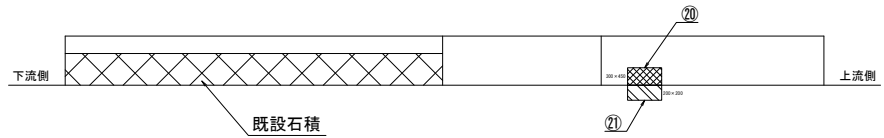
記 号	工 種	補修部位
	断面修復工(鉄筋露出)	床版
	断面修復工(うき)	床版、A1縦壁
	断面修復工(表面被覆)	床版
	断面修復工(断面欠損)	A1、A2縦壁
	断面修復工(豆板)	A1縦壁
	断面修復工(洗掘)	A1、A2縦壁
	水切り工	地覆下面

下部工

A1橋台



A2橋台

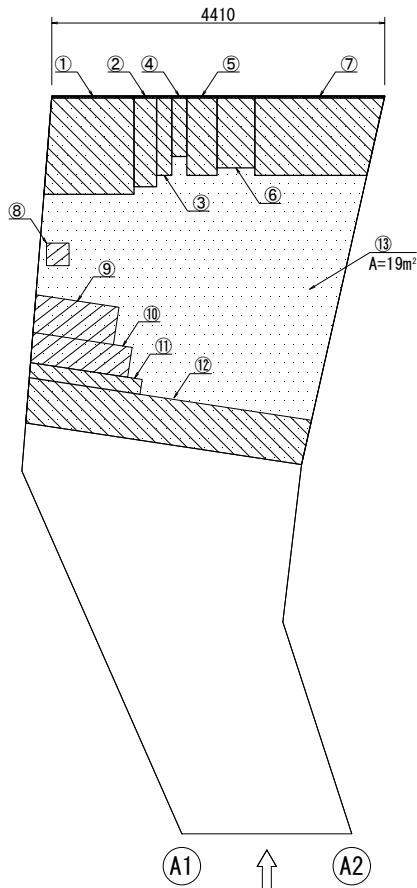


認可実施	当初	第	回変更
年度番号	令和4年度	道河第30号	
路線名	市道港列見線		
工事名	橋梁(中嶋橋他)補修工事		
地名	長浜市三ツ矢元町		
図面名	南日吉橋 補修一般図		
縮尺	図示		
図面番号	24枚ノ内20		
長浜市都市建設部道路河川課			

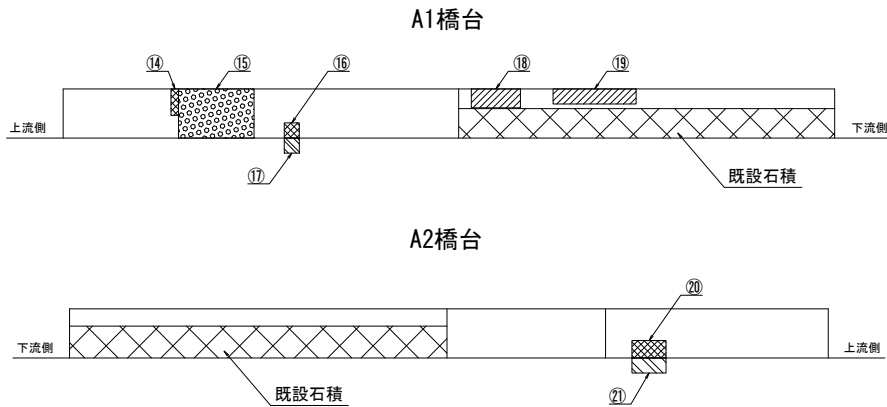
南日吉橋 補修図(1)

断面修復工

上部工 S=1:50



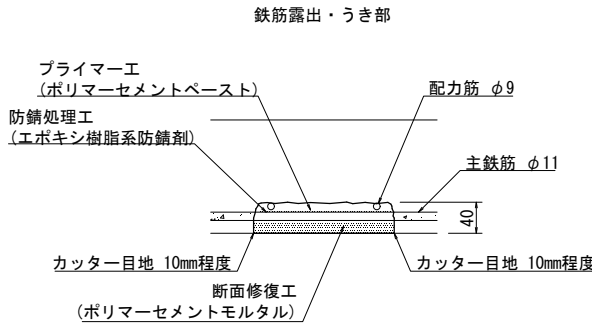
下部工 S=1:50



- 断面修復工 (うき)
- 断面修復工 (鉄筋露出)
- 断面修復工 (表面被覆)
- 断面修復工 (豆板)
- 断面修復工 (断面欠損)
- 断面修復工 (洗掘)
- 水切り工

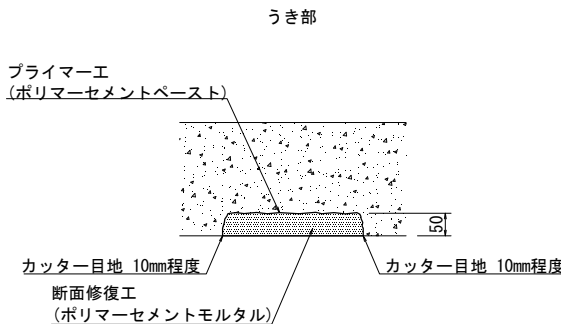
断面修復工要領図 S=1:5

床 版



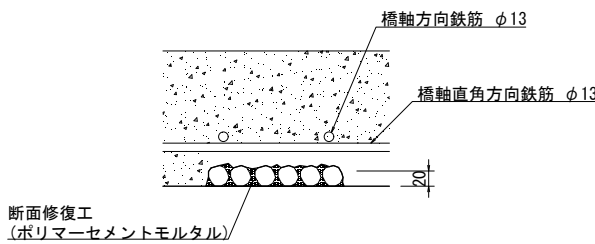
注) 上記はつり深さは想定値であり、部位によって鋼材のかぶりにばらつきがあることが想定されるため、主鉄筋の内側まではつり出し、断面修復を行うこと。

下部工縦壁



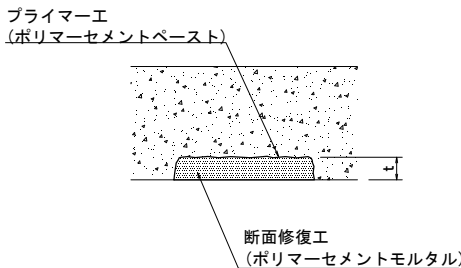
注) 上記はつり深さは想定値である。したがって、現場状況に合わせてはつり深さを見直すこと。

豆板部



注) 骨材間にポリマーセメントモルタルが十分に行き渡るようにコテですり込むこと。

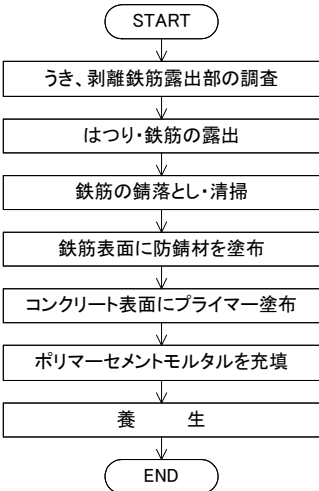
断面欠損・空洞・洗掘部



注) 1. 上記断面修復深さは、現場状況に合わせて決定すること。
2. 断面修復にあたっては、ポリマーセメントモルタルを複数回に分け、空洞ができないように確実に充填すること。

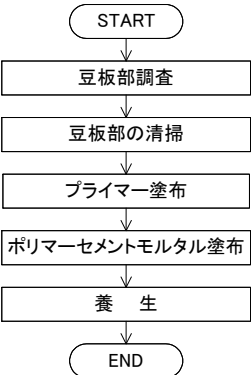
施工手順

(うき・鉄筋露出部)



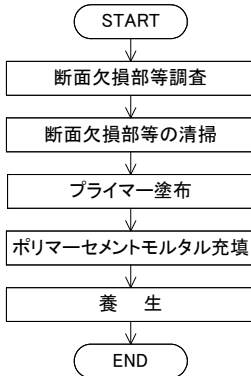
施工手順

(豆板部)



施工手順

(断面欠損部等)



断面修復材 (ポリマーセメントモルタル)

NEXCO構造物施工管理要領

試験項目	規格値
ひび割れ抵抗性	幅0.05mm以上のひび割れが発生しないこと
コンクリートの付着性	1.5N/mm²以上
鉄筋背面への充填性	有害な空隙がないこと
寸法安定性	0.05%以下
熱膨張性	2×10⁻³/℃以下
中性化抵抗性	補修設計で定めた中性化速度係数と同等
凍結融解抵抗性	負荷後の相対弾性係数が60%以上かつ負荷後のコンクリートと断面修復材との付着強度は1.5N/mm²以上
遮塩性	補修設計で定めた塩化物イオンの拡散係数と同等
圧縮強度	補修設計で定めた設計基準強度以上
静弾性係数	補修設計定めた値と同等

断面修復工 (上部工)

No	幅 W(mm)	長さ L(mm)	深さ t(mm)
1	1300	1140	40
2	1200	300	40
3	1050	200	40
4	800	200	40
5	1050	400	40
6	950	500	40
7	1050	1600	40
8	300	300	40
9	500	1100	40
10	400	1320	40
11	200	1490	40
12	600	3740	40
13	19.0m²×0.01m		

断面修復工 (下部工)

No	幅 W(mm)	長さ L(mm)	深さ t(mm)
14	350	100	300
15	700	1000	20
16	200	200	200
17	200	200	200
18	250	650	50
19	200	1100	50
20	300	450	200
21	200	450	200

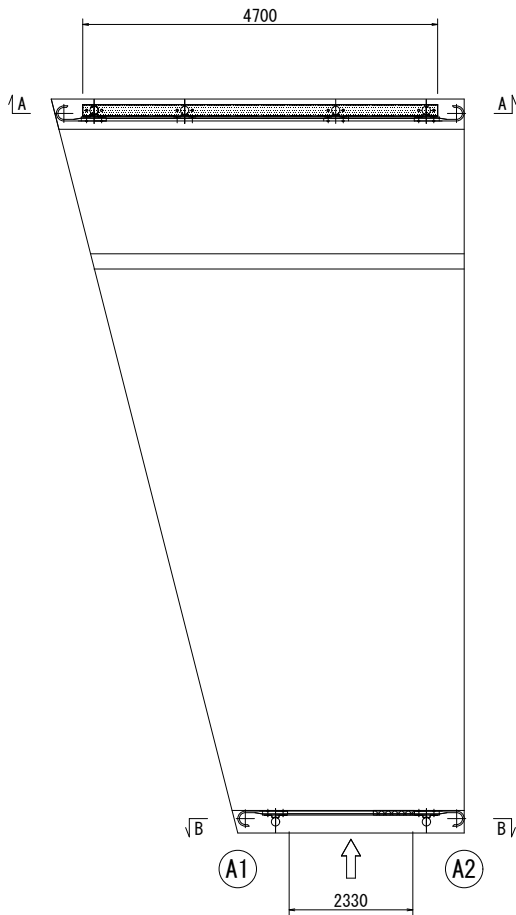
注) 1. 断面修復の範囲及び深さについては、施工着手前に再度確認し、必要に応じて補修計画の見直しを行うこと。

認可 実施	当 初	第	回変更
年度 番号	令和 4 年度 道河第 30 号		
路 線 名	市道港列見線		
工 事 名	橋梁（中嶋橋他）補修工事		
地 名	長浜市三ツ矢元町		
図 面 名	南日吉橋 補修図（1）		
縮 尺	図 示		
図 面 番 号	24 枚 ノ 内 21		
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課			

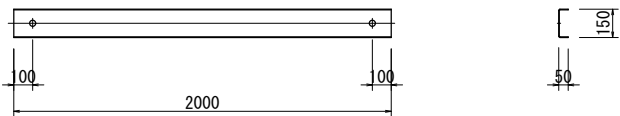
南日吉橋 補修図(2)

橋梁用防護柵工

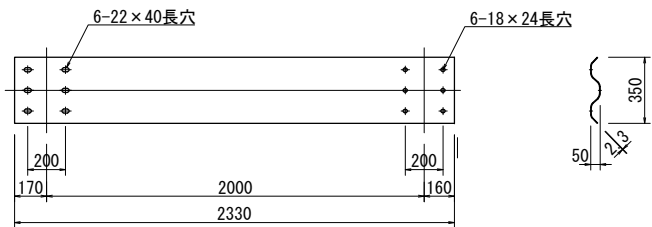
平面図 S=1:50



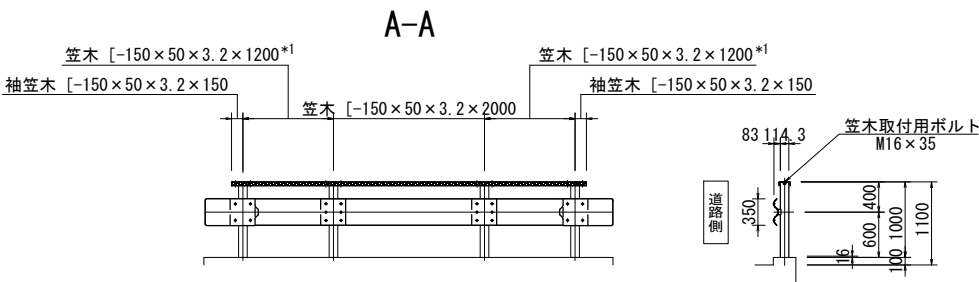
笠木 S=1:20



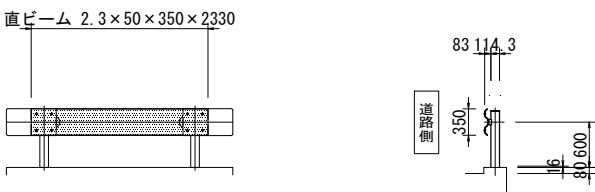
ビーム S=1:20



側面図 S=1:50

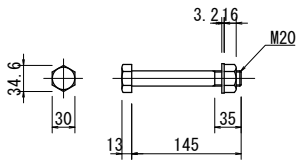


B-B

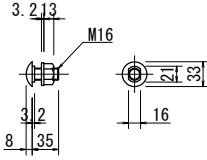


注) 1. 上流側の防護柵は直ビームのみを、下流側の防護柵は、笠木のみを取り替えるものとする。
2. *1の区間の笠木は、2mもの切断、孔明け加工をして使用するものとする。

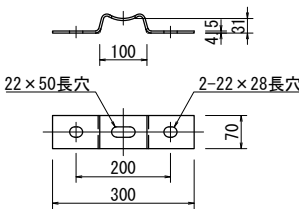
ブラケット取付用B.N.W. (4. 6) S=1:5



ビーム取付用B.N.W. (6. 8) S=1:5

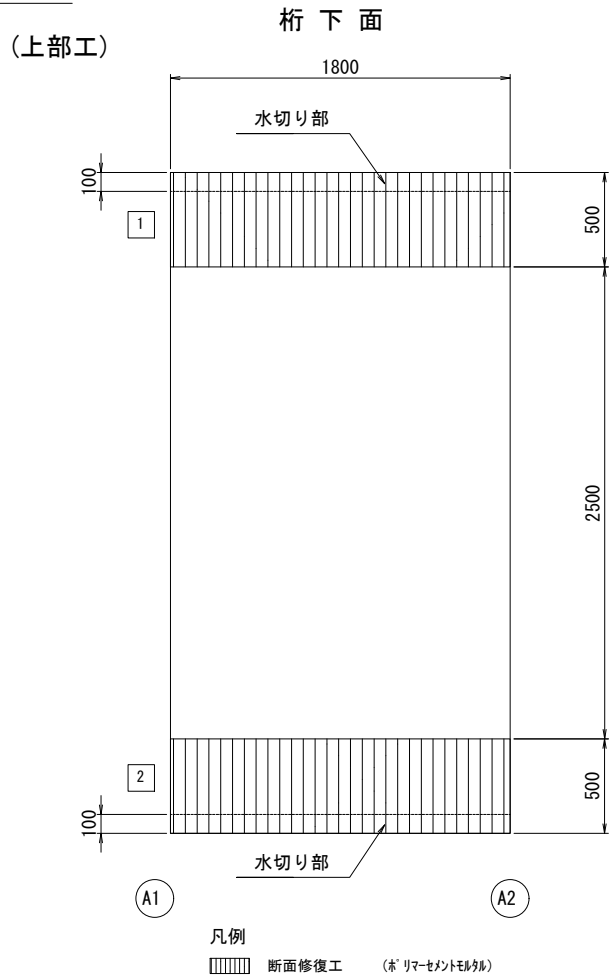


ブラケット S=1:8



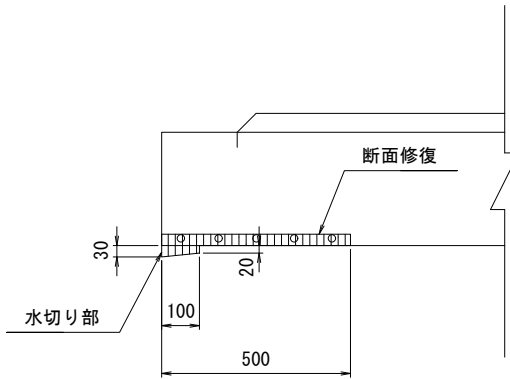
認可実施	当初	第	回変更
年度番号	令和4年度	道河第30号	
路線名	市道港列見線		
工事名	橋梁(中嶋橋他)補修工事		
地名	長浜市三ツ矢元町		
図面名			
縮尺	図示		
図面番号	24枚ノ内22		
長浜市都市建設部道路河川課			

断面修復工



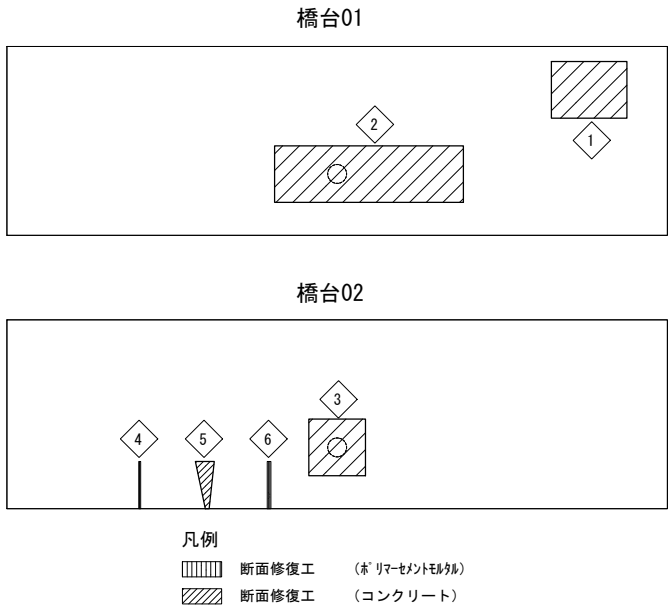
断面修復工					
【鉄筋露出】					
番号	寸法 (1箇所あたり) (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)	備 考	
				カッター目地	材 料
1	1800 × 500 × 30	0.900	0.0270	片 側	ポリマーセメントモルタル
2	1800 × 500 × 30	0.900	0.0270	〃	〃
小 計			0.0540		
水切り部			0.0090		
合 計		1.800	0.0630		

端部詳細図 S=1:10



※ 端部には、水切りの機能を有した突起をすること。

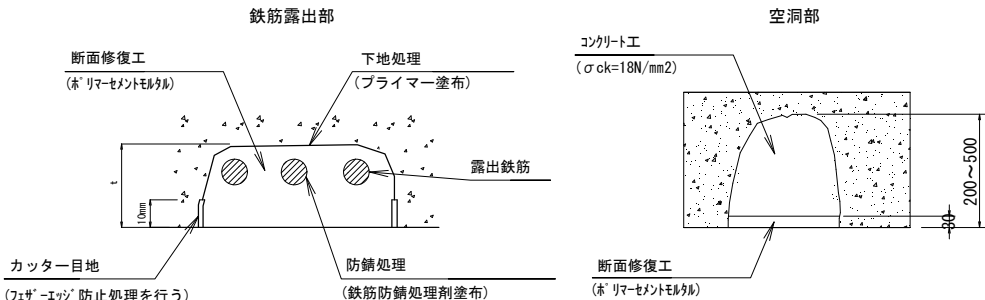
(下部工)



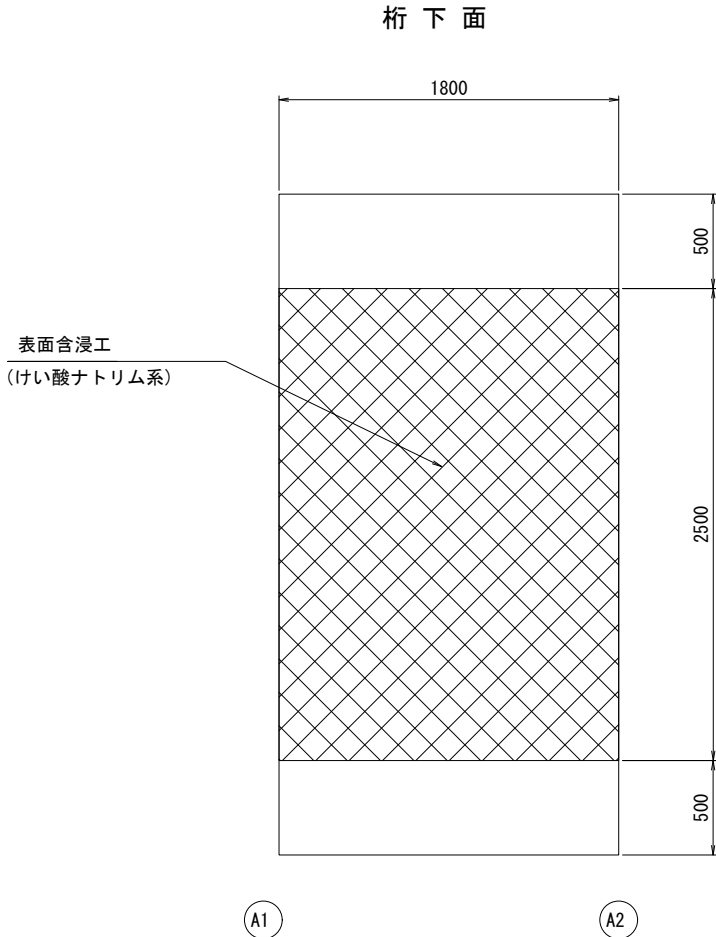
断面修復工					
【空洞】					
番号	寸法 (1箇所あたり) (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)	備 考	
1	300 × 400 × 470	0.120	0.0564	コンクリート (σck=18N/mm2)	
	300 × 400 × 30	0.120	0.0036	ポリマーセメントモルタル	
2	3000 × 1000 × 170	3.000	0.5100	コンクリート (σck=18N/mm2)	
	3000 × 1000 × 30	3.000	0.0900	ポリマーセメントモルタル	
3	300 × 300 × 370	0.090	0.0333	コンクリート (σck=18N/mm2)	
	300 × 300 × 30	0.090	0.0027	ポリマーセメントモルタル	
4	10 × 250 × 300	0.003	0.0009	ポリマーセメントモルタル	
	100 × 50 × 270	0.005	0.0014	コンクリート (σck=18N/mm2)	
5	100 × 50 × 30	0.005	0.0002	ポリマーセメントモルタル	
	20 × 250 × 300	0.005	0.0015	ポリマーセメントモルタル	
合 計		3.215	0.6011	コンクリート (σck=18N/mm2)	
合 計		3.223	0.0989	ポリマーセメントモルタル	

※施工時に、監督員と材料、工法の協議の上決定すること。
※セメントによるの修復時には、空隙が生じないようにセメントの締固めを十分に行うこと。

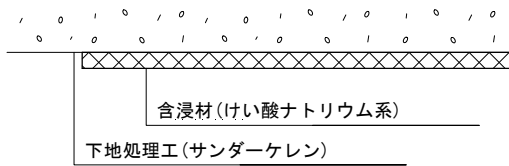
断面修復工



表面含浸工

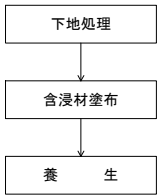


断面図

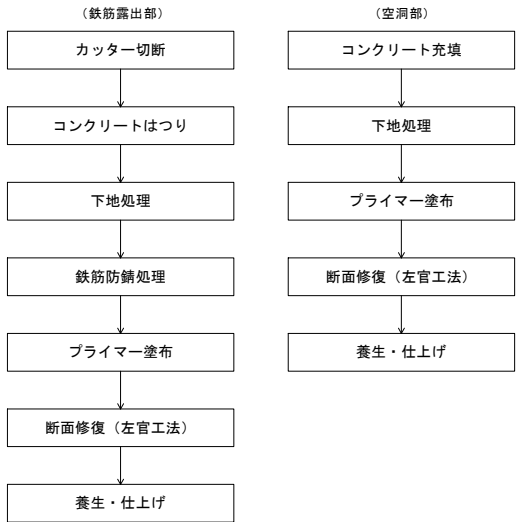


※1 含浸材を塗布するときは、下地処理を十分に行う。
※2 断面修復工の範囲にと含浸材塗布の範囲は、基本ラップしない。

施工手順 (参考)



施工手順 (参考)



※1 劣化、不良コンクリートは健全部に損傷を与えないよう周囲にコンクリートカッターにより切断目地を入れる。
※2 下地処理は、ワイヤーブラシ等を用いて構内の切粉等の清掃を行う。
※3 剥離、欠損、豆板部はうき、脆弱部分をはつり取り鉄筋が見えた場合は、鉄筋防食処理後、欠損断面を補修する。
※4 鋼材露出部は、はつり後、鉄筋の防食処理を入念に行った後、断面修復を行う。

認可 実施	当 初	第	回変更
年度 番号	令和 4 年度 道河第 30 号		
路 線 名	市道地福寺栄船線		
工 事 名	橋梁（中嶋橋他）補修工事		
地 名	長浜市朝日町		
図 面 名	中田橋 補修図		
縮 尺	図 示		
図 面 番 号	24 枚 ノ 内 24		
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課			